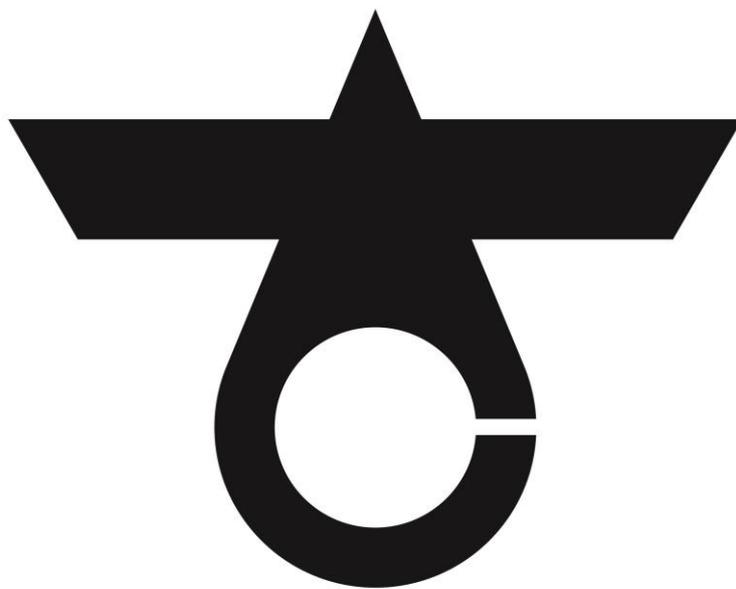


令和元年度 大阪狭山市教育委員会

点検・評価 報告書



令和2年3月
大阪狭山市教育委員会

目 次

	ページ
1 事務の点検・評価について	
(1) はじめに	5
(2) 点検・評価の対象	5
(3) 教育部及びこども政策部の運営方針	6
2 教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員会委員名簿	10
(2) 教育委員会議などの開催状況	11
①教育委員会議	
②各種会議	
③教育委員会議以外での活動状況	
3 点検・評価調書	
I 子育てにやさしい環境づくり	
1. さやま元気っこ推進事業	22
2. 子どもの居場所づくり推進事業	24
3. 認定子育てサポーター事業	25
4. プレイセンター推進事業	26
5. 発達障がい児支援事業	27
6. 子育て支援・世代間交流センター施設運営事業	28
7. 子育て情報提供事業	30
8. 利用者支援事業	31
9. まちライブラリーサポーター事業	32
10. 市立幼稚園等3歳児保育事業	33
11. 市立幼稚園等未就園児事業	34
12. 市立幼稚園等子育て支援事業	35
13. 英語教育事業	36
14. 幼児教育・保育無償化事業	37
15. 放課後児童会アドバイザー設置事業	38
16. 民間放課後児童会運営事業費補助金交付事業	39
17. 放課後児童会事業	40

Ⅱ 学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり

1. 教育振興基本計画改定事業	43
2. 学校施設長寿命化計画策定事業	44
3. 学校施設大規模改造事業	
【第七小学校大規模改造（管理棟他）工事】	45
4. 小学校特別教室空調機設置工事	46
5. 教育用コンピュータネットワーク機器の更新	47
6. 学力向上推進事業	48
7. 家庭学習バックアップ事業	50
8. 学校評価・支援事業	51
9. 学校まるごとバック事業	52
10. 読書eプラン推進事業	53
11. 支援教育事業	54
12. 生徒指導支援事業	56
13. 体力向上推進事業	57
14. 中学校部活動支援人材活用事業	58
15. 家庭教育支援事業	59
16. 英語教育支援事業	60
17. 就学支援事業	61
18. 安全・安心スクール事業	62
19. キャリア教育推進事業	63
20. コンテナワゴン等更新事業	64
21. 安全・安心な学校給食推進事業（食物アレルギー対応）	65

Ⅲ 生涯スポーツの推進

1. ドリームフェスティバル事業	67
2. スポーツ振興事業	68

Ⅳ 生涯学習の推進

1. 社会教育センター管理事業	70
-----------------	----

V 市民文化・歴史文化の振興

1. 郷土資料館管理事業	72
2. 狭山ニュータウン50周年記念パネル展事業	73
3. 狭山池の魅力発見活用事業 （狭山池シンポジウム）	74
4. マイクロフィルム電子化事業	75
5. 文化財保護推進事業	76
6. 市史編さん事業	77
7. 埋蔵文化財発掘調査事業	78
8. 子ども向け講座実施事業	79

4 学識経験者などの意見	80
--------------	----



◆資料編

- ① 令和元年度市内小中学校の在籍数、学級数
- ② さやまっ子の夢をふくらませる教育
- ③ さやまの支援教育
- ④ 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査における結果と分析の概要について
- ⑤ 啐啄（144号～148号）
- ⑥ 学校給食における食物アレルギー対応について
- ⑦ 令和元年度夏休みこども歴史塾チラシ
- ⑧ 歴史文化セミナー簡修館チラシ
- ⑨ 狭山藩中興の祖 北条氏朝公生誕350年記念特別展 さやまのお殿さま―藩主北条氏の足跡―チラシ
- ⑩ 狭山池シンポジウム2019チラシ
- ⑪ 令和元年度冬休みこども歴史塾チラシ
- ⑫ 市立幼稚園、認定こども園、民間保育所、小規模保育事業の在籍数、定員数
- ⑬ あおぞら&あそびのひろばチラシ
- ⑭ 利用者支援事業―利用のご案内―
- ⑮ 大阪狭山市発達障がい児等支援事業「手をつなGO！」
- ⑯ペアレントトレーニング～つながろう～
- ⑰ 親子で楽しもう チェリービーンズ参加者募集
- ⑱ 親子であそぼう「たんぼぼの会」 参加者募集
- ⑲ 東池尻「こぐまの会」 参加者募集
- ⑳ げんきっず 参加者募集のご案内
- ㉑ 親子であそぼう ヤミー！！ 参加者募集
- ㉒ ピーナッツクラブ参加者募集
- ㉓ 親子であそぼう きらきらきっず 参加者募集
- ㉔ 大阪狭山市子育て情報アプリ さやまっ子
- ㉕ “ぽっぽえん” 施設パンフレット
- ㉖ “UPっぷ” 施設パンフレット
- ㉗ “UPっぷ” 1周年記念フェスタ事業のお知らせ
- ㉘ 未就園児事業チラシ。（東幼稚園・半田幼稚園・東野幼稚園）
- ㉙ 幼児教育・保育の無償化パンフレット

1 事務の点検・評価について

(1) はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、教育委員会は、教育行政事務の管理執行状況について、自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表しなければならないと定められています。

大阪狭山市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民のみなさんへの説明責任を果たすため、「教育委員会の点検・評価」を実施し、次のとおり報告書にまとめましたので公表します。

参 考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価は、教育委員会が定めた「令和元年度大阪狭山市教育部運営方針」及び「令和元年度大阪狭山市こども政策部運営方針」に掲げた事業などを対象とします。

☞運営方針とは

大阪狭山市では、内なる分権、すなわち行政内部における権限移譲を進めるため、枠配分予算の導入や目標による管理システムの構築などに取り組んできました。

これは組織運営の基本を、従来のトップダウンによる意思決定方式から、職員がそれぞれの役割と責任を明確化した上で、創意工夫を図りながら職務を遂行する、地方分権型社会にふさわしい自律した行政組織への転換が必要であると考えたからです。

部の運営方針とは、この考え方にもとづき、各部が自らの使命を明らかにした上で、当該年度の予算について、重点的に取り組む施策と個別事業の概要について、主体的に取りまとめたものです。

(3) 教育部及びこども政策部の運営方針

I 子育てにやさしい環境づくり

- 放課後に子どもたちが、スポーツや文化活動などさまざまな体験ができる「さやま元気っこ推進事業」を、東小学校、北小学校、第七小学校で、種目や実施日数を増やして実施します。
- 放課後や休日に、子どもたちを対象とした継続的な活動に取り組む団体を支援する新たな補助金制度を創設し、子どもたちの居場所に選択肢を増やします。
- 総合型地域スポーツクラブと連携し、スポーツを通した子どもの居場所づくり事業を実施します。
- 平成27年度から施行した子ども・子育て支援新制度に係る各事業について、平成27年度から令和元年度までを計画期間とする「さやまっ子のびのびプラン」(大阪狭山市子ども・子育て支援事業計画)にもとづき取り組みます。
- 第2期「さやまっ子のびのびプラン」の策定に向け準備を進めます。
- “ぼっぼえん”などの拠点施設で取り組む子育て支援事業のほか、認定子育てサポーターを育成し、地域でのつながりをさらに深め、子育て家庭を支援します。また、親と子が共に成長できるプレイセンターの円滑な運営をサポートします。
- 平成31年1月に開設した子育て支援・世代間交流センター“UPっぴ”で、子育て支援を推進するとともに、子どもや子育て家庭と市民との交流をはかる世代間交流事業に取り組みます。
- 市立幼稚園では、平成29年度から実施している3歳児保育のさらなる充実につとめます。また、長期休業中や保育時間開始前も含め年間を通じて預かり保育を実施し、保護者の就労支援につとめます。
- 5歳児対象に、遊びながら学ぶ英語教育事業を実施します。
- 初めての集団保育が経験できるよう、2歳児対象の未就園児事業を週1回程度実施し、魅力ある幼稚園づくりに努めます。
- 10月から実施される幼児教育・保育の無償化に向け、準備作業を進めます。
- 就学前保育とのスムーズな接続を行うため、放課後児童会事業を7月からこども政策部に移管し、民間事業者のノウハウも活用しながら充実を図るとともに、子育てを支援します。
- 放課後児童支援員などへの指導・アドバイス、支援員などからの相談に適切に対応できるよう「放課後児童会アドバイザー」を引き続き設置し、支援の充実に努めます。
- さやま元気っこ推進事業などと連携し、子どもたちの放課後や休日の過ごし方について、調査研究を進めます。

【主な事業】

1. さやま元気っこ推進事業（社会教育・スポーツ振興グループ）
2. 子どもの居場所づくり推進事業（社会教育・スポーツ振興グループ）
3. 認定子育てサポーター事業（子育て支援グループ）
4. プレイセンター推進事業（子育て支援グループ）
5. 発達障がい児支援事業（子育て支援グループ）
6. 子育て支援・世代間交流センター施設運営事業（子育て支援グループ）
7. 子育て情報提供事業（子育て支援グループ）
8. 利用者支援事業（子育て支援グループ）
9. まちライブラリーサポーター事業（子育て支援グループ）
10. 市立幼稚園等3歳児保育事業（保育・教育グループ）

- 1 1. 市立幼稚園等未就園児事業（保育・教育グループ）
- 1 2. 市立幼稚園等子育て支援事業（保育・教育グループ）
- 1 3. 英語教育事業（保育・教育グループ）
- 1 4. 幼児教育・保育無償化事業（保育・教育グループ）
- 1 5. 放課後児童会アドバイザー設置事業（放課後こども支援グループ）
- 1 6. 民間放課後児童会運営事業費補助金交付事業（放課後こども支援グループ）
- 1 7. 放課後児童会事業（放課後こども支援グループ）

Ⅱ 学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり

- 「大阪狭山市教育振興基本計画」を今度中に改定します。
- 学校施設の長寿命化を計画的、効率的に実施するため、施設の劣化状況を調査し、その結果にもとづく「学校施設長寿命化計画」を今年度中に策定します。
- 第七小学校（管理棟他）の大規模改造工事を実施します。
- すべての小学校の特別教室に空調機を設置します。
- これからの学校園のあり方検討会を開催し、学校規模の適正化やコミュニティ・スクールの導入に向けた検討を行います。
- 本市の教育振興基本計画の基本理念にもとつき「保育教育指針」を掲げ、これまでの取組みを基礎に学校教育活動の充実を図ります。
- 子どもたちの学力向上を目的に先進地視察を行い、その成果を指導の工夫や改善に役立てます。
- 次期学習指導要領の全面实施に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組みます。
- ICT機器の活用を推進し、子どもたちが主体となる授業づくりを進めます。
- 教員による手づくり教材である「自ら学ぶノート」を活用し、学習習慣の定着を図ります。
- 中学生を対象にした学習支援を土曜日や長期休業中に実施し、学習機会の保障に努めます。
- 教員と学校図書館司書とが連携し、子どもたちの読書活動がいっそう充実するよう、環境整備に努めます。また、市立図書館とのさらなる連携に向けて、具体策を研究します。
- 学校生活のさまざまな場面で英語でコミュニケーションが取れる環境づくりに努め、生きた英語力の育成を図ります。
- 次期学習指導要領で外国語（英語）学習が必修化されることを踏まえ、小学校へのALT・中学校英語教諭の派遣、研究会などをさらに充実させます。
- 中学校1・2年生を対象にスコア型英語能力検定を実施し、生徒の「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく育成します。
- 障がいのある児童生徒が、障がいの状況に応じた適切な教育が受けられるよう、学びの支援員や特別学びの支援員（看護師）を配置するなど、支援教育の充実を図ります。
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーを積極的に活用し、いじめなど子どもを取り巻く諸課題の未然防止、早期対応、相談体制の充実を図ります。
- 子どもたちの体力向上を図るため、「体力向上プロジェクト」による研究を推進するとともに、学校生活全体を通じて、体力向上や集団づくりを促進します。

- 中学校における部活動の質的な向上と、担当する教員の時間外勤務の削減を支援するため、各中学校に部活動支援員を配置します。
- 発達の段階に応じて人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる子どもの育成に努めます。
- プロミング教育の必修化を踏まえ、児童生徒が使用している教育用コンピュータネットワーク機器を更新します。
- 学校図書館の蔵書率の向上に努めます。また、図書廃棄基準にもとづいて、学校図書を適切に廃棄・更新することで、蔵書の質の向上を図ります。
- 教職員と学校図書館司書とが連携し、子どもたちの読書活動の充実を図るとともに、国語力の向上の取組みを進めます。
- 配送用のコンテナワゴンや学校で使用する配膳台を計画的に更新します。
- 食物アレルギー除去食を、対象の児童生徒に提供します。

【主な事業】

1. 教育振興基本計画改定事業（教育総務グループ）
2. 学校施設長寿命化計画策定事業（教育総務グループ）
3. 学校施設大規模改造事業【第七小学校大規模改造（管理棟他）工事】（教育総務グループ）
4. 小学校特別教室空調機設置工事（教育総務グループ）
5. 教育用コンピュータネットワーク機器の更新（教育総務グループ）
6. 学力向上推進事業（学校教育グループ）
7. 家庭学習バックアップ事業（学校教育グループ）
8. 学校評価・支援事業（学校教育グループ）
9. 学校まるごとパック事業（学校教育グループ）
10. 読書eプラン推進事業（学校教育グループ）
11. 支援教育事業（学校教育グループ）
12. 生徒指導支援事業（学校教育グループ）
13. 体力向上推進事業（学校教育グループ）
14. 中学校部活動支援人材活用事業（学校教育グループ）
15. 家庭教育支援事業（学校教育グループ）
16. 英語教育支援事業（学校教育グループ）
17. 就学支援事業（学校教育グループ）
18. 安全・安心スクール事業（学校教育グループ）
19. キャリア教育推進事業（学校教育グループ）
20. コンテナワゴン等更新事業（学校給食グループ）
21. 安全・安心な学校給食推進事業（食物アレルギー対応）（学校給食グループ）

Ⅲ 生涯スポーツの推進

- 市民の体力維持・向上を図るため、体育協会やスポーツ推進委員会、総合型地域スポーツクラブなどと連携した事業を実施します。
- 地域住民とのコミュニケーションづくりを進めるため、「さやりんピック」を開催します。
- 3市（富田林市・河内長野市・大阪狭山市）共催で、子どもから大人までの市民が身近にプロ野球観戦できる機会として、プロ野球ウエスタンリーグ公式戦を主とした交流事業、ドリームフェスティバルを実施します。

【主な事業】

1. ドリームフェスティバル事業（社会教育・スポーツ振興グループ）
2. スポーツ振興事業（社会教育・スポーツ振興グループ）

Ⅳ 生涯学習の推進

- 市民のみなさんに学習機会の提供、学習活動のきっかけづくりに努めます。
- さまざまな社会教育事業を通じて、地域活動に主体的にかかわる人材の育成に努めます。
- 市民の学習ニーズの把握に努め、指定管理者との連携を深めながら、事業内の充実を図ります。
- 社会教育センターの屋上防水工事を実施します。

【主な事業】

1. 社会教育センター管理事業（社会教育・スポーツ振興グループ）

Ⅴ 市民文化・歴史文化の振興

- 本市が所有する狭山藩北条氏に関する歴史資料を活用し、その魅力を発信するため、狭山藩北条氏をテーマとした特別展を開催します。
- 狭山ニュータウン活性化事業の一環として、入居開始から50年を迎える狭山ニュータウンのまちの変遷を紹介するパネル展を開催します。
- 古文書など歴史資料の保存と活用を図るため、本市が保管しているマイクロフィルムの電子データ化を進めます。

【主な事業】

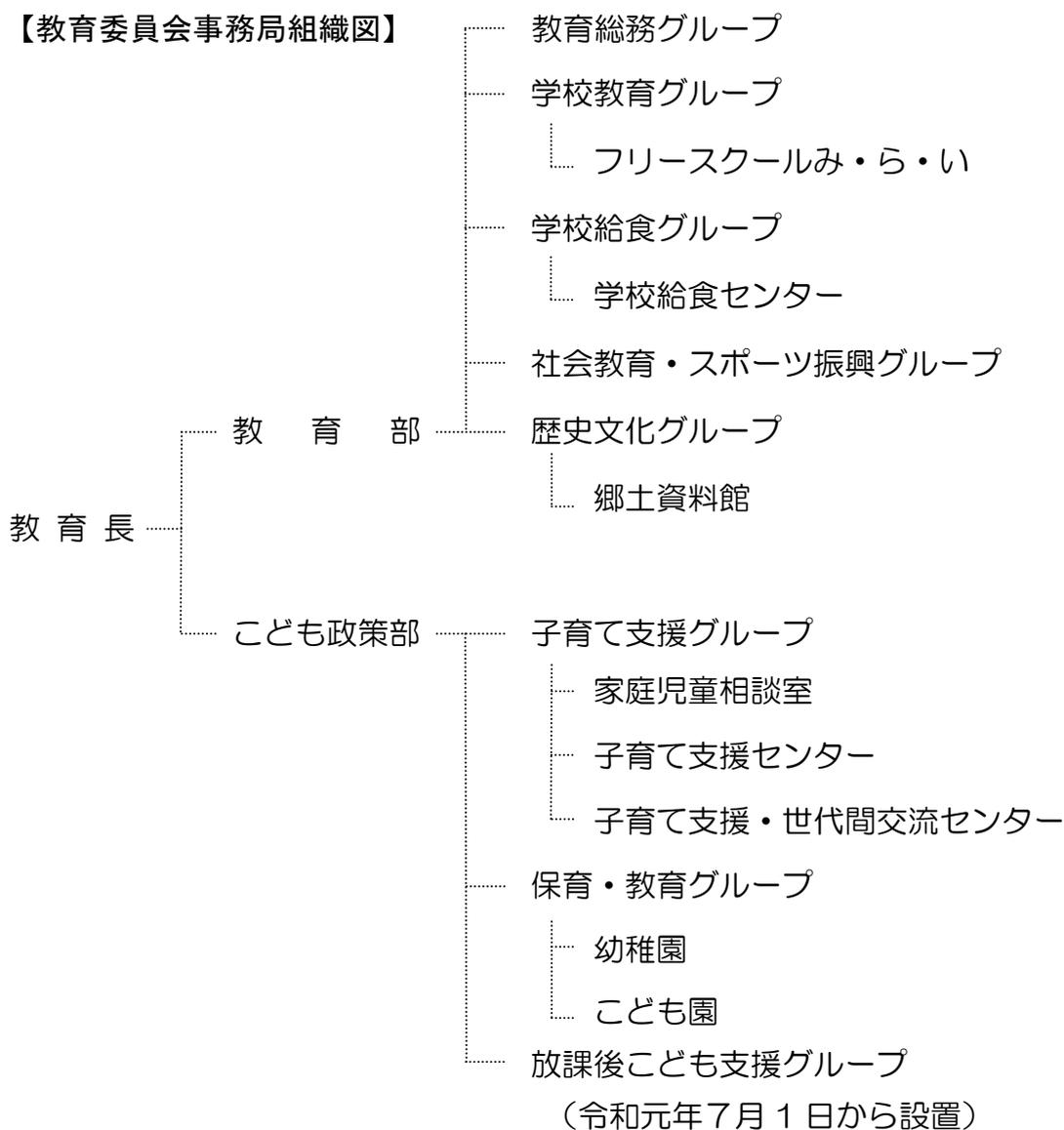
1. 郷土資料館管理事業（歴史文化グループ）
2. 狭山ニュータウン50周年記念パネル展事業（歴史文化グループ）
3. 狭山池の魅力発見活用事業（狭山池シンポジウム）（歴史文化グループ）
4. マイクロフィルム電子化事業（歴史文化グループ）
5. 文化財保護推進事業（歴史文化グループ）
6. 市史編さん事業（歴史文化グループ）
7. 埋蔵文化財発掘調査事業（歴史文化グループ）
8. 子ども向け講座実施事業（歴史文化グループ）

2 教育委員会の活動状況

(1) 大阪狭山市教育委員会委員名簿（令和元年度在籍）

職名	氏名	備考
教育長	竹谷 好弘	令和元年 8月30日新任
教育長	長谷 雄二	令和元年 8月14日退任
教育長職務代理者	山田 順久	令和元年10月 1日新任
教育長職務代理者	山崎 貢	令和元年 9月30日退任
委員	田川 宜子	
委員	河合 洋次	
委員	井上 寿美	

【教育委員会事務局組織図】



(2) 教育委員会議などの開催状況（平成31年2月～令和2年1月）

①教育委員会議

▽定例会議

区 分	日 時	付 議 案 件
平成31年 第2回	平成31年 2月28日(木)	平成31年度大阪狭山市保育教育指針について 大阪狭山市放課後児童会条例施行規則の一部を改正する規則について 大阪狭山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 日本遺産申請について 平成30年度（2018年度）大阪狭山市一般会計補正予算（教育委員会関係）について 平成31年度（2019年度）大阪狭山市一般会計予算（教育委員会関係）について
第3回	3月28日(木)	大阪狭山市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について 平成32年度使用小学校教科用図書の採択に係る諮問について 平成30年度大阪狭山市教育委員会点検・評価報告書について 平成30年度（2018年度）大阪狭山市一般会計補正予算（教育委員会関係）について 平成31年度（2019年度）大阪狭山市一般会計補正予算（教育委員会関係）について 大阪狭山市立こども園・幼稚園・小学校・中学校及び教育委員会事務局の管理職人事異動について 大阪狭山市狭山池学術調査委員会の委員委嘱について 大阪狭山市民間放課後児童会運営事業補助金交付要綱について 天皇の即位の日及び即位礼正殿の儀の行われる日を休日とする法律の施行に伴う市立子育て支援・世代間交流センター及び子育て支援センターの休館日の変更について
第4回	4月18日(木)	社会教育委員の委嘱及び任命について 令和2年度大阪狭山市立小学校教科用図書選定委員の委嘱及び任命について 大阪狭山市民間放課後児童会運営事業費補助金交付要綱について 埋蔵文化財包蔵地について

令和元年 第1回	令和元年 5月30日(木)	大阪狭山市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 社会教育委員の委嘱について 大阪狭山市教育委員会事務局の内部組織におけるグループの設置に関する 規程及び大阪狭山市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程につい て 大阪狭山市社会教育委員の委嘱について 大阪狭山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部を改正する条例について 大阪狭山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の 一部を改正する条例について 大阪狭山市立第七小学校大規模改造（管理棟他）工事について 令和元年度（2019年度）大阪狭山市一般会計補正予算（教育委員会関係） について
第2回	6月27日(木)	大阪狭山市文化財保護審議会委員の委嘱について 大阪狭山市教育委員会事務局の管理職人事異動について 大阪狭山市就学支援委員会委員の委嘱及び任命について 大阪狭山市子どもの居場所づくり推進事業費補助金交付要綱について
第3回	7月30日(火)	令和2年度使用中学校教科用図書の採択について 令和2年度使用小学校教科用図書の採択について 大阪狭山市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について 大阪狭山市日本遺産認定検討会議設置規程について 大阪狭山市立中学校部活動指導員配置事業実施要綱について
第4回	8月28日(水)	大阪狭山市指定文化財の指定について 令和2年度市立幼稚園・こども園募集人員の設定について 指定管理者の指定について 指定管理者の指定について 令和元年度（2019年度）大阪狭山市一般会計補正予算（教育委員会関係） について
第5回	9月27日(金)	令和元年度大阪狭山市教育委員会文化教育功労者表彰被表彰者の決定につ いて 次期大阪狭山市教育振興基本計画（令和2年～6年度）の体系・骨子につ いて 令和元年度全国学力・学習状況調査における結果と分析の概要について 平成30年度（2018年度）大阪狭山市一般会計決算（教育委員会関係）に ついて 大阪狭山市教育委員会事務局の管理職人事異動について
第6回	10月29日(火)	大阪狭山市立第七小学校大規模改造（管理棟他）工事について

第7回	11月21日(木)	令和元年度(2019年度)大阪狭山市一般会計補正予算(教育委員会関係)について
第8回	12月26日(木)	第2期大阪狭山市教育振興基本計画(素案)及び第2期大阪狭山市教育振興基本計画(素案)のパブリックコメントについて いじめ事象について
令和2年 第1回	令和2年 1月30日(木)	大阪狭山市児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱について 第2期大阪狭山市子ども・子育て支援事業計画(素案)及び第2期大阪狭山市子ども・子育て支援事業計画(素案)のパブリックコメントについて

▽臨時会議

区分	日時	付議案件
	9月3日(火)	大阪狭山市教育委員会事務局組織規則及び大阪狭山市保育所等における保育の利用に関する規則の一部を改正する規則について 大阪狭山市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について 大阪狭山市教育委員会事務局の管理職人事異動について 大阪狭山市立幼稚園設置に関する条例等の一部を改正する条例について

②各種会議

▽教育振興基本計画策定委員会

区分	日時	会議内容
第1回	平成31年 2月15日(金)	会議の公開・傍聴等について 次期大阪狭山市教育振興基本計画の策定方針(案)について 大阪狭山市教育振興基本計画の振り返りと課題について アンケート調査について
第2回	令和元年 7月10日(水)	大阪狭山市の教育や生涯学習に関する市民アンケート及び大阪狭山市教育委員会教職員用アンケート調査結果の報告について 次期大阪狭山市教育振興基本計画(令和2~6年度)体系・骨子について
第3回	9月6日(金)	次期大阪狭山市教育振興基本計画の体系骨子案の最終確認について 大阪狭山市教育振興基本計画(第1章~第3章)案について
第4回	10月30日(水)	大阪狭山市教育振興基本計画(第1章~第3章)案について 大阪狭山市教育振興基本計画(第4章~第5章)案について
第5回	11月27日(水)	大阪狭山市教育振興基本計画(素案)について 大阪狭山市教育振興基本計画(素案)のパブリックコメントについて

▽大阪狭山市いじめ問題対策委員会

区 分	日 時	会 議 内 容
平成 30 年度 第 3 回	平成 31 年 2 月 4 日(月)	市内のいじめの状況について 無記名式いじめアンケートについて
令和元年度 第 1 回	令和元年 5 月 20 日(月)	事業等の説明、委員長・副委員長の決定 市内のいじめの状況について
第 2 回	5 月 28 日(火)	市内のいじめの状況について
第 3 回	7 月 9 日(火)	市内のいじめの状況について
第 4 回	10 月 28 日(月)	市内のいじめの状況について 無記名式いじめアンケートについて

▽大阪狭山市就学支援委員会

区 分	日 時	会 議 内 容
平成 30 年度 第 3 回	平成 31 年 2 月 20 日(水)	来年度の就学予定について 来年度の支援教育基本方針(案)について
令和元年度 第 1 回	令和元年 7 月 9 日(火)	就学支援委員会の組織と活動内容、委員長・副委員長の選出 支援学級の状況、今年度小・中学校へ進学する児童の就学について
第 2 回	10 月 28 日(月)	平成 31 年度入学児童生徒の就学相談状況について

▽大阪狭山市立小学校教科用図書選定委員会

区 分	日 時	会 議 内 容
平成 31 年度 第 1 回	平成 31 年 4 月 16 日(火)	選定委員の委嘱・任命 委員長・副委員長の選出
第 2 回	令和元年 6 月 13 日(木)	各教科の調査員よりの報告
第 3 回	6 月 17 日(月)	各教科の調査員よりの報告

▽大阪狭山市社会教育委員会議

区 分	日 時	会 議 内 容
平成 30 年度 第 5 回	平成 31 年 3 月 26 日(火)	今後の社会教育施設の整備について
令和元年度 第 1 回	令和元年 5 月 31 日(金)	今後の社会教育行政について
第 2 回	8 月 8 日(木)	平成 30 年度社会教育関係団体事業費補助金実績報告について 令和元年度社会教育関係団体事業費補助金申請について 今後の社会教育行政について
第 3 回	10 月 29 日(火)	今後の社会教育行政について

▽大阪狭山市文化財保護審議会

区 分	日 時	会 議 内 容
平成 30 年度 第 2 回	平成 31 年 2 月 21 日 (木)	市指定文化財候補物件の諮問について 市内文化財の調査について
令和元年度 第 1 回	令和元年 8 月 8 日 (木)	会長・副会長の選出について 諮問物件の調査報告について 諮問物件の答申について 次期市指定文化財候補について 令和元年度特別展及び狭山池シンポジウム 2019 について

▽大阪狭山市狭山池総合学術調査委員会

区 分	日 時	会 議 内 容
第 16 回	平成 31 年 2 月 20 日 (水)	史跡狭山池関連文化財報告書目次案について 史跡狭山池関連文化財の調査について
第 17 回	令和元年 7 月 19 日 (金)	委員長・副委員長の選出について 史跡狭山池関連文化財報告書目次案について 史跡狭山池関連文化財の調査について 現状変更等について

▽大阪狭山市青少年問題協議会

区 分	日 時	会 議 内 容
令和元年度 第 1 回	令和元年 8 月 30 日 (金)	大阪狭山市の青少年問題について 議題「大阪狭山市における青少年の問題」について情報交換

▽大阪狭山市学校給食衛生管理委員会

区 分	日 時	会 議 内 容
令和元年度 第 1 回	令和元年 10 月 16 日 (水)	衛生管理委員による学校給食センター及び各小中学校配膳室の巡視

▽大阪狭山市立子育て支援センター、子育て支援・世代間交流センター運営会議

区 分	日 時	会 議 内 容
平成 31 年度 第 1 回	平成 31 年 4 月 25 日 (木)	平成 31 年度事業について (子育て支援センター、子育て支援・世代間交流センター) 地域子育て支援センター、幼稚園・保育園等の現状について 関係機関・団体との連携について (現状と課題)
第 2 回	令和 2 年 1 月 30 日 (木)	令和元年度子育て支援センター事業の実績報告について 令和元年度子育て支援・世代間交流センター事業の実績報告について 関係機関・団体の連携および情報交換について

▽大阪狭山市子ども・子育て協議会

区 分	日 時	会 議 内 容
平成 30 年度 第 2 回	平成 31 年 3 月 20 日(水)	子ども・子育て支援事業計画に係る平成 29 年度事業の評価について 幼保連携型認定こども園の利用定員の設定について 第 2 期子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査について
令和元年度 第 1 回	令和元年 7 月 12 日(金)	会長及び副会長の選任について 子どもと子育てに関するアンケート調査結果について 子ども・子育て支援事業計画の策定について
第 2 回	9 月 27 日(金)	子ども・子育ての支援事業に係る平成 30 年度の事業実績について 実施計画に搭載する事業について 子どもの貧困対策に資する事業について 第 2 期計画設計、施策体系(案)について
第 3 回	11 月 14 日(木)	平成 30 年度の子ども・子育て施策評価について 子ども・子育て支援事業計画(第 1 章～第 3 章)(案)について
第 4 回	12 月 16 日(月)	子ども・子育て支援事業計画について(第 1 章～第 3 章、第 4 章～第 5 章、第 6 章～資料編)
第 5 回	令和 2 年 1 月 21 日(火)	子ども・子育て支援事業計画について(素案)

③教育委員会議以外での活動状況

▽学校園関係

日 時	内 容	場 所
平成 31 年 3 月 13 日(水)	市立中学校卒業式	市内各中学校
3 月 15 日(金)	市立幼稚園・こども園修了式	市内各幼稚園・こども園
3 月 18 日(月)	市立小学校卒業式	市内各小学校
4 月 2 日(火)	学校園管理職総会	子育て支援・世代間交流センター
4 月 4 日(木)	市立幼稚園・こども園入学式	市内各幼稚園・こども園
4 月 5 日(金)	市立小中学校入学式	市内各小中学校
令和元年 6 月 6 日(木)	小学校連合運動会	市民総合グラウンド
9 月 27 日(金)	市立中学校体育大会	市内各中学校
10 月 5 日(土)	市立幼稚園・こども園運動会	市内各幼稚園・こども園
10 月 20 日(日)	市立小学校運動会	市内各小学校
11 月 5 日(火)	市立第三中学校まるごとパック	第三中学校
12 月 5 日(木)	市立南第三小学校まるごとパック	南第三小学校
令和 2 年 1 月 16 日(木)	市立南中学校まるごとパック	南中学校
1 月 17 日(金)	市立狭山中学校まるごとパック	狭山中学校

▽会議・研修関係

日 時	内 容	場 所
平成 31 年 2 月 18 日(月)	市町村教育委員会教育長・学校教育指導主管部課長会議	アウィーナ大阪
4 月 4 日(木)	市町村教育委員会教育長会議	アウィーナ大阪
4 月 12 日(金)	大阪府都市教育長協議会 4 月定例会	アウィーナ大阪
4 月 15 日(月)	南河内地区市町村教育長連絡協議会 (第 1 回) 南河内地区人事協議会 (第 1 回)	南河内府民センター
4 月 25 日(木) ～ 4 月 26 日(金)	近畿都市教育長協議会定期総会	ホテルニューオウミ
令和元年 5 月 21 日(火)	大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会	アウィーナ大阪
5 月 23 日(木) ～ 5 月 24 日(金)	第 71 回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会	富山国際会議場
7 月 5 日(金)	大阪府都市教育長協議会 7 月定例会	アウィーナ大阪
7 月 8 日(月)	南河内地区市町村教育長連絡協議会 (第 2 回) 南河内地区人事協議会 (第 2 回)	南河内府民センター
10 月 4 日(金)	大阪府都市教育長協議会 10 月定例会	アウィーナ大阪
	総合教育会議	大阪狭山市役所
10 月 11 日(金)	近畿市町村教育委員会研修大会	野州文化ホール
10 月 24 日(木)	近畿都市教育長協議会研究協議会	ホテル&リゾート長浜
10 月 28 日(月)	大阪府市町村教育委員会研修会	アウィーナ大阪
10 月 31 日(木)	大阪府都市教育長協議会秋季研修会	摂津市役所
11 月 5 日(火)	南河内地区市町村教育委員会研修会	まつばらテラス
11 月 15 日(金)	大阪府教育長協議会予算要望説明会	アウィーナ大阪
令和 2 年 1 月 10 日(金)	大阪府都市教育長協議会 1 月定例会	アウィーナ大阪
1 月 30 日(木)	大阪府都市教育委員会研修会	アウィーナ大阪
1 月 31 日(金)	南河内地区市町村教育長連絡協議会 (第 3 回) 南河内地区人事協議会 (第 3 回)	南河内府民センター

▽その他

日 時	内 容	場 所
平成 31 年 2 月 3 日 (日)	第 62 回南大阪駅伝競争大会  賞状授与	PL 教団本庁内コース
3 月 24 日 (日)	第 8 回さやりんピック	さやか公園
令和元年 5 月 8 日 (水)	大阪狭山市人権教育研究協議会・大阪狭山市教育研究会総会	南第三小学校体育館
5 月 12 日 (日)	市民体育大会開会式	総合体育館
6 月 15 日 (土)	市こ連ソフトボール大会	野球場
6 月 25 日 (火)	第 1 回教科書学習会	大阪狭山市役所
7 月 4 日 (木)	第 2 回教科書学習会	大阪狭山市役所
7 月 11 日 (木)	第 3 回教科書学習会	大阪狭山市役所
8 月 3 日 (土)	平和を考える市民のつどい	SAYAKA ホール 小ホール
11 月 3 日 (日)	文化教育功労者表彰式  全員集合写真	SAYAKA ホール 小ホール
11 月 16 日 (土)	狭山池シンポジウム 2019	SAYAKA ホール 小ホール
11 月 24 日 (日)	第 9 回さやりんピック	さやか公園
12 月 8 日 (日)	人権を考える市民のつどい	公民館・大集会室

<p>令和2年 1月13日(月)</p>	<p>成人式</p>  <p>花束贈呈</p>	<p>SAYAKA ホール 大ホール</p>
--------------------------	---	----------------------------

3 点検・評価調書

I 子育てにやさしい環境づくり

- 放課後に子どもたちが、スポーツや文化活動などさまざまな体験ができる「さやま元気っこ推進事業」を、東小学校、北小学校、第七小学校で、種目や実施日数を増やして実施します。
- 放課後や休日に、子どもたちを対象とした継続的な活動に取り組む団体を支援する新たな補助金制度を創設し、子どもたちの居場所に選択肢を増やします。
- 総合型地域スポーツクラブと連携し、スポーツを通した子どもの居場所づくり事業を実施します。
- 平成 27 年度から施行した子ども・子育て支援新制度に係る各事業について、平成 27 年度から令和元年度までを計画期間とする「さやまっ子のびのびプラン」(大阪狭山市子ども・子育て支援事業計画)にもとづき取り組みます。
- 第 2 期「さやまっ子のびのびプラン」の策定に向け準備を進めます。
- “ぽっぽえん”などの拠点施設で取り組む子育て支援事業のほか、認定子育てサポーターを育成し、地域でのつながりをさらに深め、子育て家庭を支援します。また、親と子が共に成長できるプレイセンターの円滑な運営をサポートします。
- 平成 31 年 1 月に開設した子育て支援・世代間交流センター“UPっぴ”で、子育て支援を推進するとともに、子どもや子育て家庭と市民との交流をはかる世代間交流事業に取り組みます。
- 市立幼稚園では、平成 29 年度から実施している 3 歳児保育のさらなる充実につとめます。また、長期休業中や保育時間開始前も含め年間を通じて預かり保育を実施し、保護者の就労支援につとめます。
- 5 歳児対象に、遊びながら学ぶ英語教育事業を実施します。
- 初めての集団保育が経験できるよう、2 歳児対象の未就園児事業を週 1 回程度実施し、魅力ある幼稚園づくりに努めます。
- 10 月から実施される幼児教育・保育の無償化に向け、準備作業を進めます。
- 就学前保育とのスムーズな接続を行うため、放課後児童会事業を 7 月からこども政策部に移管し、民間事業者のノウハウも活用しながら充実を図るとともに、子育てを支援します。
- 放課後児童支援員などへの指導・アドバイス、支援員などからの相談に適切に対応できるよう「放課後児童会アドバイザー」を引き続き設置し、支援の充実に努めます。
- さやま元気っこ推進事業などと連携し、子どもたちの放課後や休日の過ごし方について、調査研究を進めます。

【主な事業】

1. さやま元気っこ推進事業（社会教育・スポーツ振興グループ）
2. 子どもの居場所づくり推進事業（社会教育・スポーツ振興グループ）
3. 認定子育てサポーター事業（子育て支援グループ）
4. プレイセンター推進事業（子育て支援グループ）
5. 発達障がい児支援事業（子育て支援グループ）
6. 子育て支援・世代間交流センター施設運営事業（子育て支援グループ）
7. 子育て情報提供事業（子育て支援グループ）
8. 利用者支援事業（子育て支援グループ）
9. まちライブラリーサポーター事業（子育て支援グループ）
10. 市立幼稚園等3歳児保育事業（保育・教育グループ）
11. 市立幼稚園等未就園児事業（保育・教育グループ）
12. 市立幼稚園等子育て支援事業（保育・教育グループ）
13. 英語教育事業（保育・教育グループ）
14. 幼児教育・保育無償化事業（保育・教育グループ）
15. 放課後児童会アドバイザー設置事業（放課後こども支援グループ）
16. 民間放課後児童会運営事業費補助金交付事業（放課後こども支援グループ）
17. 放課後児童会事業（放課後こども支援グループ）

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	社会教育・スポーツ振興グループ																																									
事業名	さやま元気っこ推進事業																																											
概要	<p>子どもたちが、放課後に安全で安心して過ごせる居場所づくりとして、安全・安心な子どもの活動拠点をめざし、遊び・体験・交流・学習支援などさまざまな分野の場を提供する。</p> <p>・期 間 令和元年6月5日(水)～令和2年3月4日(水) 各プログラム週1回実施(ただし、夏休みと冬休みを除く)</p> <p>・活動場所 教室・体育館</p> <p>・活動時間 前期 6月～10月 14時45分～16時45分 後期 11月～3月 14時45分～16時30分</p> <p>◇東 小元気っこクラブ 月曜・水曜・金曜 年間68回 ◇西 小元気っこクラブ 月曜・水曜・木曜 年間70回 ◇南一小元気っこクラブ 月曜・水曜 年間38回 ◇南二小元気っこクラブ 月曜・水曜・金曜 年間79回 ◇南三小元気っこクラブ 月曜・水曜・金曜 年間78回 ◇北 小元気っこクラブ 水曜・金曜 年間46回 ◇第七小元気っこクラブ 水曜・金曜 年間50回 ◇元気っこ夏休み教室 第七小元気っこクラブを除く各元気っこクラブで3プログラムを実施</p> <p>プログラム内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>月</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東 小</td> <td>テニス</td> <td>こども広場</td> <td>*****</td> <td>バドミントン</td> </tr> <tr> <td>西 小</td> <td>日本舞踊</td> <td>達磨拳</td> <td>こども広場</td> <td>*****</td> </tr> <tr> <td>南一小</td> <td>茶道</td> <td>こども広場</td> <td>*****</td> <td>*****</td> </tr> <tr> <td>南二小</td> <td>合唱</td> <td>空 手</td> <td>*****</td> <td>こども広場</td> </tr> <tr> <td>南三小</td> <td>サッカー 日本舞踊</td> <td>こども広場</td> <td>*****</td> <td>バスケットボール</td> </tr> <tr> <td>北 小</td> <td>*****</td> <td>こども広場</td> <td>*****</td> <td>英会話</td> </tr> <tr> <td>第七小</td> <td>*****</td> <td>こども広場</td> <td>*****</td> <td>テニス</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇夏休み ①大学生によるクラフト教室 ②図書室でじっくりと ③元気っこシャッフル</p>					月	水	木	金	東 小	テニス	こども広場	*****	バドミントン	西 小	日本舞踊	達磨拳	こども広場	*****	南一小	茶道	こども広場	*****	*****	南二小	合唱	空 手	*****	こども広場	南三小	サッカー 日本舞踊	こども広場	*****	バスケットボール	北 小	*****	こども広場	*****	英会話	第七小	*****	こども広場	*****	テニス
	月	水	木	金																																								
東 小	テニス	こども広場	*****	バドミントン																																								
西 小	日本舞踊	達磨拳	こども広場	*****																																								
南一小	茶道	こども広場	*****	*****																																								
南二小	合唱	空 手	*****	こども広場																																								
南三小	サッカー 日本舞踊	こども広場	*****	バスケットボール																																								
北 小	*****	こども広場	*****	英会話																																								
第七小	*****	こども広場	*****	テニス																																								

<p>成果と評価</p>	<p>平成 16 年度より、放課後の子どもたちの居場所づくり事業として「こども広場」を実施。</p> <p>平成 23 年度までに「こども広場」を東小学校、南第一小学校、北小学校、第七小学校で実施。</p> <p>平成 24 年度より、「こども広場」「学習チューター事業」「放課後児童会」の連携を図り、遊び・体験・交流・学習支援などさまざまな分野の場を提供することを目的に、「こども広場」の実施していない南第三小学校において試行的に「南三小元気っこクラブ」を実施。※「南三小元気っこクラブ」とし、サッカー、日本舞踊、エイサー、将棋、自由遊びなどを週 4 回実施（土曜日含む）</p> <p>平成 25 年度より、「南三小元気っこクラブ」（週 3 回）を 6 月より本格実施。</p> <p>平成 26 年度より、「南三小元気っこクラブ」（週 3 回）に加え、「西小元気っこクラブ」（週 3 回）を実施。</p> <p>平成 27 年度後期より、試行的に「南二小元気っこクラブ」（週 2 回）に加え、「こども広場」「元気っこクラブ」を市内全小学校で実施。</p> <p>平成 28 年度より、「南二小元気っこクラブ」（週 2 回）を 6 月より本格実施。</p> <p>平成 29 年度より、「南二小元気っこクラブ」合唱に加え、週 3 回実施。また、「東小こども広場」にバドミントンを加え、「東小元気っこクラブ」（週 2 回）とし、実施。</p> <p>平成 30 年度より、「東小元気っこクラブ」テニスを加え週 3 回実施。また、「南一小こども広場」に茶道を加え、「南一小元気っこクラブ」（週 2 回）とし、実施。</p> <p>令和元年度より、「北小こども広場」に英会話を加え、「北小元気っこクラブ」（週 2 回）とし、また「第七小こども広場」にはテニスを加え、「第七小元気っこクラブ」（週 2 回）とし、実施。子どもたちの居場所が拡大のため、週 1 回の「こども広場」から、週 2～3 回の「元気っこクラブ」に全校シフトした。</p>
<p>今後の課題と目標</p>	<p>「元気っこクラブ」と「こども広場」は、目的が同じで一つのグループが実施しているが、開始時期、実施方法が違ったため、統一が図られていなかった。</p> <p>現在、全校「元気っこクラブ」にシフトしており、またスタッフ会議も全校スタッフ対象に実施することで、徐々に統一的な運営がなされてきている。</p> <p>スタッフの高齢化・人数減少など課題は多い。</p> <p>今後は、中学校区に 1 人ずつの元気っこコーディネーターを配置し、全校で「元気っこクラブ」の実施を行い、放課後児童会事業の補完的な役割も担えるよう、相互の連携を図っていく。</p>
<p>【課長コメント】</p> <p>地域や各種団体などと連携しながら、児童が放課後に多様な体験や活動ができるよう「さやま元気っこ推進事業」の充実に努めたい。</p>	

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい環境づくり	担当グループ	社会教育・スポーツ振興グループ	
事業名	子どもの居場所づくり推進事業			
概要	すべての子どもたちが健やかに生活できる環境整備を促進することを目的として、子どもたちが、放課後などに食事や学習、団らんなどを通じた安心して過ごせる居場所づくりを行う事業の実施に要する経費の助成を行う。			
	区分	25日以上	50日以上	100日以上
	補助金額	150,000円	300,000円	500,000円
成果と評価	<p>交付要綱を作成し、令和元年7月1日に施行した。(補助期間は令和元年度)</p> <p>また、説明会を開催して、実施を検討している方々に事業の趣旨や補助金についての詳しい説明を行った。</p> <p>令和元年度では、1団体が助成を受けて子どもの居場所づくりを開始した。</p>			
今後の課題と目標	<p>今後も情報発信をし続け、子どもの居場所づくりに取り組む個人や団体を支援していき、子どもたちが健やかに生活できる環境整備を促進していく。</p>			
<p>【課長コメント】 補助金を活用した子どもの居場所づくりを市内に広めるための広報活動に力を注ぎたい。</p>				

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	子育て支援グループ	
事業名	認定子育てサポーター事業			
概要	子育てや保育経験のある市民を対象に、養成講座を実施し、受講者を子育てサポーターとして認定する。子育てサポーターによる新しい取組みによって、各地域での子育て支援の充実を図る。			
成果と評価	子育てサポーター登録者数…111人 【活動実績】 (令和元年12月末現在)			
		場 所	回数 参加人数	
	あおぞらひろば	大野台第6公園、 狭山池博物館屋上庭園	10回	68組
		市内幼稚園 3か所 こども園 1か所	30回	217組
あそびのひろば	川向地区会館 池尻コミュニティーホール 南海狭山住宅自治会館 東野地区公民館 茱萸木中央公民館 下今熊地区会館	35回	185組	
	◇その他の取組みとして、保育所・幼稚園・小学校で実施する「えほんのひろば」や、プレイセンター事業への協力、幼稚園の3歳児保育や未就園児事業への協力を行った。また、UP つぶ一周年事業で民生委員との共催事業として「おやこ de ぽかぽかクリスマス」を実施した。			
今後の課題と目標	フォローアップ研修や実践を通して人材育成に努めるとともに、サポーター発信で保護者に子育て支援の情報提供や、プレイセンター事業の自主的活動ができるよう、より連携を深めていく。			
【課長コメント】 会員数も目標の100人を上回る111人の登録を数え、精力的に活動していただいている。今後も地域での子育て支援活動を継続して実施していただけるよう、フォローアップ研修をはじめとしたサポートを行っていく。				

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	子育て支援グループ																												
事業名	プレイセンター推進事業																														
概要	子どもに“自分で選ぶ遊び”を、親に“親のための学習”を提供できるよう、子育て家庭の親と子どもが会員となって協同運営を行い、地域の協力も得ながら親と子どもと一緒に成長できるプレイセンター活動を支援することで、子育てしやすい環境づくりを進める。																														
成果と評価	【活動実績】 <div style="text-align: right;">(令和元年12月末現在)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名 称</th> <th style="width: 25%;">活 動 拠 点</th> <th style="width: 25%;">活 動 回 数</th> <th style="width: 25%;">会 員 登 録 組 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たんぽぽの会</td> <td>東野幼稚園</td> <td>12回</td> <td>10組</td> </tr> <tr> <td>こぐまの会</td> <td>東池尻会館</td> <td>13回</td> <td>11組</td> </tr> <tr> <td>げんきっず</td> <td>狭山地区会館</td> <td>12回</td> <td>12組</td> </tr> <tr> <td>ヤミー!</td> <td>自由丘会館</td> <td>15回</td> <td>17組</td> </tr> <tr> <td>ピーナツクラブ</td> <td>東野地区公民館</td> <td>11回</td> <td>13組</td> </tr> <tr> <td>きらきらきっず</td> <td>川向地区公民館</td> <td>12回</td> <td>12組</td> </tr> </tbody> </table>			名 称	活 動 拠 点	活 動 回 数	会 員 登 録 組 数	たんぽぽの会	東野幼稚園	12回	10組	こぐまの会	東池尻会館	13回	11組	げんきっず	狭山地区会館	12回	12組	ヤミー!	自由丘会館	15回	17組	ピーナツクラブ	東野地区公民館	11回	13組	きらきらきっず	川向地区公民館	12回	12組
	名 称	活 動 拠 点	活 動 回 数	会 員 登 録 組 数																											
たんぽぽの会	東野幼稚園	12回	10組																												
こぐまの会	東池尻会館	13回	11組																												
げんきっず	狭山地区会館	12回	12組																												
ヤミー!	自由丘会館	15回	17組																												
ピーナツクラブ	東野地区公民館	11回	13組																												
きらきらきっず	川向地区公民館	12回	12組																												
<p>◇東村公民館で活動していた「チェリービーンズ」については、地域の子供が少ないため、平成31年4月から休会中。</p> <p>◇6団体での交流会を1回実施。</p>																															
今後の課題と目標	プレイセンター活動の円滑な自主運営が行えるよう、各地区の民生委員やボランティアと連携して、サポートしていく。																														
【課長コメント】 今後も本事業が地域のご協力とご理解のもとで継続して実施できるよう、現在の活動をサポートするとともに、新たなプレイセンターの立ち上げに向け、調査・検討していく。																															

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい環境づくり	担当グループ	子育て支援グループ																
事業名	発達障がい児支援事業																		
概要	<p>○発達障がいやサポートが必要な児童とその保護者を対象に、専門的な相談や個々に応じた療育の場「手をつなGO!」を提供する。 療育…小学校3年生までの児童を対象に隔週1回実施 相談…中学生までの児童又はその保護者を対象に随時実施</p> <p>○子どもの行動を理解し、より良い親子関係づくりをめざして、保護者を対象に小グループでの勉強会「ペアレントトレーニング」を実施する。</p>																		
成果と評価	<p>【活動実績】 ○「手をつなGO!」 (令和元年12月末現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 35%;">対 象</th> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 10%;">件数など</th> <th style="width: 40%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">療育</td> <td>小学校3年生までの児童</td> <td style="text-align: center;">隔週1回</td> <td style="text-align: center;">20人</td> <td>就学前児童9人 小学生11人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">相談</td> <td>中学生までの児童、保護者</td> <td style="text-align: center;">随時</td> <td style="text-align: center;">80件</td> <td>情報提供、教育・保育、家庭生活など</td> </tr> </tbody> </table>					対 象	回数	件数など	内 容	療育	小学校3年生までの児童	隔週1回	20人	就学前児童9人 小学生11人	相談	中学生までの児童、保護者	随時	80件	情報提供、教育・保育、家庭生活など
		対 象	回数	件数など	内 容														
	療育	小学校3年生までの児童	隔週1回	20人	就学前児童9人 小学生11人														
	相談	中学生までの児童、保護者	随時	80件	情報提供、教育・保育、家庭生活など														
	<p>《療育を受けた児童の変化》 個々に応じた支援計画のもと、環境構成や視覚支援を行うことで、自信を持って、自立して行動することや、他者とのコミュニケーション力の向上が見られた。</p>																		
<p>《親の変化》 保護者のニーズにより丁寧に、具体的に対応することで保護者自身も、子どもの困り感に気づき、子どもの特性を理解し、支援できるようになってきている。</p>																			
<p>《学校園の変化》 集団生活での様子を知るために、年2回学校園を訪問する。各学校園の教職員から個別の対応方法についての相談も増え、連携が深まってきている。</p> <p>○ペアレントトレーニング 小学校3年生までの子どもの保護者を対象にし、10月から全5回実施した。</p>																			
今後の課題と目標	<p>今後も、より一層学校園との連携を深め、子どもにとってより良い環境となるよう努めていく。また、「手をつなGO!」卒業生の保護者の相談体制・勉強会の充実に努める。</p>																		
<p>【課長コメント】 今後も学校園との連携を深めながら、相談体制を充実させ、早期発見・支援につなげることができるよう継続して実施していく。</p>																			

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	子育て支援グループ																												
事業名	子育て支援・世代間交流センター施設運営事業																														
概要	<p>子育て支援・世代間交流センター、通称“UP つぶ”において、地域における子育て支援を総合的に推進するための環境を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て交流ひろば（1階）では、就学前の子どもと保護者が遊び、交流できる場としてプレイルームや園庭を設置する。また、専門知識を持つ「保育・子育てコンシェルジュ」を配置し、子育て情報の提供や子育てに関する不安や悩みなどの相談に対応する。 ・世代間交流ひろば（2階）では、子どもや子育て家庭だけでなく、世代を超えたさまざまな年代の人が出会いふれあい、情報を共有しあう場として、研修室での市民協働事業をはじめ、“まちライブラリー”の運営のほか、自習室・多目的室の開放を行う。 																														
成果と評価	<p>○子育て交流ひろばの利用状況（令和元年12月末日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者数 1,720人 ・プレイルームと園庭の延べ利用人数 18,048人（1日平均約78.5人） <p>○世代間交流ひろばの利用状況（令和元年12月末日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自習室とまちライブラリーの利用登録数 1,781人 ・自習室の延べ利用人数 11,252人（1日平均43.8人） ・まちライブラリーの蔵書数 1,316冊、貸出冊数 344冊（令和元年7月より貸出を開始） ・協働事業の実施状況 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>ものづくり教室（ワークショップ）</td> <td>1回</td> <td>参加人数</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>UP つぶ朝食堂</td> <td>9回</td> <td>参加人数</td> <td>181人</td> </tr> <tr> <td>プログラミング（パソコン）講座</td> <td>6回</td> <td>参加人数</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>アレンジフラワー</td> <td>1回</td> <td>参加人数</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>子どもの服のリサイクル交換会</td> <td>1回</td> <td>参加人数</td> <td>82人</td> </tr> </table> ・自主事業の実施状況 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>親子で学ぶおこづかいの使い方講座</td> <td>2回</td> <td>参加人数</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>UP つぶ夏休み宿題講座</td> <td>16回</td> <td>参加人数</td> <td>84人</td> </tr> </table> <p>※令和元年12月12日、13日にUP つぶ1周年記念フェスタ事業として、「おやこでde ぽかぽかクリスマス」及び「まちライブラリークリスマス」を実施。（参加人数850人）</p>			ものづくり教室（ワークショップ）	1回	参加人数	48人	UP つぶ朝食堂	9回	参加人数	181人	プログラミング（パソコン）講座	6回	参加人数	82人	アレンジフラワー	1回	参加人数	29人	子どもの服のリサイクル交換会	1回	参加人数	82人	親子で学ぶおこづかいの使い方講座	2回	参加人数	62人	UP つぶ夏休み宿題講座	16回	参加人数	84人
ものづくり教室（ワークショップ）	1回	参加人数	48人																												
UP つぶ朝食堂	9回	参加人数	181人																												
プログラミング（パソコン）講座	6回	参加人数	82人																												
アレンジフラワー	1回	参加人数	29人																												
子どもの服のリサイクル交換会	1回	参加人数	82人																												
親子で学ぶおこづかいの使い方講座	2回	参加人数	62人																												
UP つぶ夏休み宿題講座	16回	参加人数	84人																												

<p>今後の課題 と目標</p>	<p>世代間交ひろばでの市民協働事業については、より多くの方からの提案を受けられることができるよう、募集にあたっての周知方法などについて検討していく必要がある。また、“ぽっぽえん”との連携を一層密にしながら、相互で実施している事業の見直しを検討していく。併せて市民に対して2つの施設の特色やメリットなどを伝え地域子育て支援拠点の利用促進を図っていく。</p>
<p>【課長コメント】 開館以来、子育て交流ひろばの利用登録数は順調に伸びており、リピーターの方も多く、乳幼児を持つ子育て世帯にご活用いただいている。今後も“来てよかった”と思っていただけるよう、支援していきたい。世代間交流ひろばについても利用登録者数は順調に伸びている。今後は世代間交流事業を充実させるための方策を検討していく。</p>	

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい環境づくり	担当グループ	子育て支援グループ
事業名	子育て情報提供事業		
概要	<p>子育て中の保護者や妊婦及びその配偶者などに、本市の子育て支援情報をより効率良く発信するため、身近で利用しやすいツールとして携帯及びタブレット端末用アプリケーションを、配信する。</p>		
成果と評価	<p>平成 29 年 12 月に配信を開始してから、令和元年 12 月にはダウンロード数は 1,694 件となっている。また、子育て支援センター、子育て支援・世代間交流センター、保健センター、ニュータウン連絡所、幼稚園、保育所、こども園にもチラシを設置し、市民への周知に努めた。</p>		
今後の課題と目標	<p>より多くの人にアプリケーションを周知するため、転入者・出生時の手当窓口にてチラシを配布し、広報に努める。また、アプリケーションのダウンロードを促進するだけでなく、活用してもらえるように市内の子育て世帯向けのイベントなどのお知らせを継続的に掲載し、プッシュ通知する。</p>		
<p>【課長コメント】 平成 29 年 12 月にアプリを配信して以来、毎月 30 件から 40 件程度のアプリダウンロード数を確保している。庁内の関係グループと連携しながら子育て世帯が必要としている情報を今後も継続的に発信していく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	子育て支援グループ		
事業名	利用者支援事業				
概要	子どもや保護者、妊婦が、教育・保育施設や子育て支援サービスを円滑に利用できるよう、相談や助言、関係機関との連絡調整などを行い、子育て家庭の個々のニーズにあった必要な支援を行う。また、子育て支援センター“ぽっぽえん”及び子育て支援・世代間交流センター“UPつぶ”に「保育・子育てコンシェルジュ」を配置する。				
成果と評価	【活動実績】 (令和元年12月末現在)				
	区 分		件数 (ぽっぽえん)	件数 (UPつぶ)	合計
	相 談	面接	135	106	241
		電話	8	4	12
		メール	0	0	0
	内 容	幼稚園・保育所・こども園	67	35	102
発達		13	18	31	
育児・しつけ		41	32	73	
その他		31	30	61	
◇「保育・子育てコンシェルジュ」の存在も、保護者に広まり、相談内容・件数は昨年度に比べ増加している。 ◇今年度、新たに2人が子育て支援員研修を受講し、「保育・子育てコンシェルジュ」が6人になった。					
今後の課題と目標	教育・保育施設や地域の子育て支援事業などを提供している関係機関との連携を強化するとともに、子育て家庭に必要な情報収集に努める。また、保護者が安心して、気軽に相談できるよう、環境を整える。				
【課長コメント】 ぽっぽえん及びUPつぶに合計6人の「保育・子育てコンシェルジュ」を配置し、支援体制の充実を図ってきた。今後も気軽に相談いただけるように周知を図っていくとともに、関係機関との連携を密にしながら継続して事業を実施していく。					

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	子育て支援グループ
事業名	まちライブラリーサポーター事業		
概要	<p>まちライブラリーとは、地域に働き、住み、訪ねる人々が本を通じてお互いを知り、すべて寄贈された本でつくる『みんなで育てるまちの図書館』である。まちライブラリーの活動に興味のある市民を「まちライブラリーサポーター」とし、サポーターによる新しい取組みによって、UP っぷまちライブラリーの周知を図るとともに世代間交流を行う。</p>		
成果と評価	<p>【活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちライブラリーの運営方針などを検討するため、サポーター会議を毎月1回実施した。 ・まちライブラリー活動の周知を図るため、まちライブラリーカフェを毎月2回実施した。(令和元年12月は4回実施) ・令和元年12月12日、13日に、UP っぷ一周年記念事業としてまちライブラリーサポーターによる「まちライブラリークリスマス」を実施した。また、期間中はサポーターおすすめの絵本展示も行った。 ・サポーター登録者数…14人(令和元年12月31日現在) 		
今後の課題と目標	<p>フォローアップ研修や実践を通して人材育成に努めるとともに、サポーター発信情報提供や自主的な活動ができるよう、より連携を深めていく。また、サポーター登録者数を増やすことで、世代間の交流を推進する事業となるよう取り組んでいく。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>今後もUP っぷにおけるまちライブラリーの旗振り役として、また市民協働の観点からも本事業を継続して実施できるよう、新規サポーターの確保に向け事業を進めていく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	保育・教育グループ			
事業名	市立幼稚園等3歳児保育事業					
概要	市立幼稚園、こども園において3歳児保育を実施する。					
成果と評価	【3歳児在籍数】					
		東幼稚園	半田幼稚園	東野幼稚園	こども園	合計
	R2.1.1	38人	11人	22人	11人	82人
	H31.1.1	30人	19人	12人	21人	82人
	◇2歳児から未就園児事業に参加していた園児が多く、年度当初から落ちついて保育を進めることができた。今年度から週1回弁当を開始し、短縮期間の縮小を図ったが、円滑に実施することができた。					
今後の課題と目標	3歳児の園児数は昨年度と増減はないが、適切な規模で集団保育を実施していくためには、引き続き園児数を維持していく必要がある。					
【課長コメント】 今年度が3歳児保育の実施から3年目であり、3歳児から入園した子どもが初めて卒園を迎えることとなるため、この3年間の成果と課題を検証していく。 また、幼児教育・保育の無償化の影響により、公立離れが加速する可能性があり、今後の幼稚園のあり方を検討していかなければならない。						

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	保育・教育グループ			
事業名	市立幼稚園等未就園児事業					
概要	市立幼稚園をより身近に感じていただくため、未就園の2歳児及びその保護者を対象にした園主催の広場事業を実施する。また、あおぞらひろばを認定子育てサポーターの協力のもと、市立幼稚園とこども園で毎月実施し、子育て支援の充実を図る。					
成果と評価	【未就園児事業参加延べ人数】 (令和元年12月末現在)					
		東幼稚園	半田幼稚園	東野幼稚園	こども園	合計
	園主催分	719人	374人	271人	—	1,364人
	あおぞら ひろば	80人	83人	59人	15人	237人
	◇2歳児を対象として園主催の広場事業を週1回(年間30回程度)実施した。					
	◇あおぞらひろばについては、0~2歳児を対象に認定子育てサポーターの協力のもと、広場事業を月1回程度実施した。					
今後の課題と目標	未就園児事業の参加者及び令和2年度の市立幼稚園入園希望者が昨年度に比べ減少しており、事業内容や周知方法について検討していく必要がある。					
	【課長コメント】 公立園として地域に開かれた魅力ある園づくりの一環として実施しているが、民間園の2歳児保育を見学し参考とするなど、さらに充実させていくための方策を考えていく。					

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	保育・教育グループ																																			
事業名	市立幼稚園等子育て支援事業																																					
概要	市立幼稚園及びこども園の通常保育終了後及び夏休みなどの長期休業期間中を含め、預かり保育を午後5時まで年間を通して実施する。																																					
成果と評価	<p>【利用実績】 (令和元年12月末現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">園名</th> <th colspan="2">延べ利用園児数</th> <th colspan="2">1日あたり利用園児数</th> </tr> <tr> <th>通常時</th> <th>夏期休業期間</th> <th>通常時</th> <th>夏期休業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東幼稚園</td> <td style="text-align: center;">1,517人</td> <td style="text-align: center;">109人</td> <td style="text-align: center;">7.3人</td> <td style="text-align: center;">4.2人</td> </tr> <tr> <td>半田幼稚園</td> <td style="text-align: center;">1,507人</td> <td style="text-align: center;">178人</td> <td style="text-align: center;">9.6人</td> <td style="text-align: center;">6.8人</td> </tr> <tr> <td>東野幼稚園</td> <td style="text-align: center;">865人</td> <td style="text-align: center;">82人</td> <td style="text-align: center;">5.3人</td> <td style="text-align: center;">3.2人</td> </tr> <tr> <td>こども園</td> <td style="text-align: center;">635人</td> <td style="text-align: center;">53人</td> <td style="text-align: center;">4.9人</td> <td style="text-align: center;">2.0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">4,524人</td> <td style="text-align: center;">422人</td> <td style="text-align: center;">27.1人</td> <td style="text-align: center;">16.2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇昨年度に引き続き登園時間前（午前8時30分から）にも保育を実施し、保護者の就労支援の充実に努めた。</p>				園名	延べ利用園児数		1日あたり利用園児数		通常時	夏期休業期間	通常時	夏期休業期間	東幼稚園	1,517人	109人	7.3人	4.2人	半田幼稚園	1,507人	178人	9.6人	6.8人	東野幼稚園	865人	82人	5.3人	3.2人	こども園	635人	53人	4.9人	2.0人	合計	4,524人	422人	27.1人	16.2人
園名	延べ利用園児数		1日あたり利用園児数																																			
	通常時	夏期休業期間	通常時	夏期休業期間																																		
東幼稚園	1,517人	109人	7.3人	4.2人																																		
半田幼稚園	1,507人	178人	9.6人	6.8人																																		
東野幼稚園	865人	82人	5.3人	3.2人																																		
こども園	635人	53人	4.9人	2.0人																																		
合計	4,524人	422人	27.1人	16.2人																																		
今後の課題と目標	幼稚園などにおける預かり保育についても無償化の対象となったことに伴い、保護者にとってより利用しやすいものとなるよう、現在のチケット制による運用方法を見直していく必要がある。																																					
<p>【課長コメント】 幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、保護者の就労支援の側面が強くなっていくため、利用しやすい運用方法を検討するとともに、事業の本来の目的である子どもにとって心の育ちの場となるよう引き続き保育内容の充実に努めていく。</p>																																						

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	保育・教育グループ			
事業名	英語教育事業					
概要	<p>幼児期から遊びを通して英語に親しみ、興味を持ち、学ぶことの楽しさを味わい、スムーズに小学校へつなげていくため、市立幼稚園・こども園の5歳児を対象に、市内で活躍されているボランティアを講師に招き、週1回程度、英語教育を実施する。</p>					
成果と評価	【実施回数】					
	(令和元年12月末現在)					
		東 幼稚園	半田 幼稚園	東野 幼稚園	こども園	合計
	クラス数 (園児数)	1 (29人)	1 (21人)	1 (20人)	2 (48人)	5 (118人)
実施回数	18回	22回	22回	40回	102回	
<p>◇昨年度に引き続き、週1回（年回30回）程度実施した。</p> <p>◇ボランティアの方が工夫を凝らし、英語あそびを通じたなかで、アルファベットを覚えることから自己紹介や簡単な日常のあいさつのほか、英語劇などを行えるようになった。</p>						
今後の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にも好評であり、子どもたちがより興味を持って楽しく学べるよう、さらに内容の充実に努める。 ・英語教育だけではなく、いろいろなものに興味を持って取り組むことの大切さを日常から教育し、保護者にも伝えていく。 					
【課長コメント】						
<p>子どもたちは熱心に楽しんで取り組んでおり、内容の充実に努めながら今後も引き続き実施していく。</p>						

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	保育・教育グループ					
事業名	幼児教育・保育無償化事業							
概要	令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化が実施されることに伴い、保護者や施設への周知をはじめ、新たに創設される給付事務などを円滑に行うため、準備を進める。							
成果と評価	【無償化対象者数】						(令和元年10月1日現在)	
	施設別	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	保育所		118人	120人	126人	364人		
	幼稚園		73人	67人	72人	212人		
	認定こども園	8人	237人	226人	185人	656人		
	合計	8人	428人	413人	383人	1,232人		
	【施設等利用給付認定者数】						(令和元年12月末現在)	
	区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
	1号				121人	103人	81人	305人
	2号				62人	47人	75人	184人
3号	0人	0人	0人				0人	
合計	0人	0人	0人	183人	150人	156人	489人	
(1号認定者については、満3歳児も含む。)								
◇ホームページ及び広報に掲載するとともに、幼稚園、保育所、こども園などを利用している保護者に個別案内を行い、パンフレットを窓口のほか、ぽっぽえんやUPつぶなどでも配布し、事前の制度周知に努めた。								
◇新たに創設された*施設等利用給付認定のほか、無償化の対象となった子どもの保護者に対し、個別に通知を行ったことで、円滑に制度移行することができた。								
※幼児教育・保育が無償化されたことに伴い、新たに対象となる施設・サービスの利用について、無償化の対象となるために受ける必要がある認定								
今後の課題と目標	無償化されたことに伴い、保護者ニーズの増加などその動向を注視し、教育・保育の提供体制についての確保方策の検討が必要である。							
【課長コメント】								
保育料が無償化されたことによる保護者のニーズの動向を見極め、教育・保育の提供体制の確保方策を検討していく。								

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	放課後こども支援グループ
事業名	放課後児童会アドバイザー設置事業		
概要	放課後児童支援員などに指導、助言、アドバイスを行う放課後児童会アドバイザーを配置することで、現場の諸課題に適切に対応し、円滑な放課後児童会運営を図る。		
成果と評価	3人の放課後児童会アドバイザーを確保し、経験則や専門的な観点からの確かな指導、助言、アドバイスが行えた。特に、各児童会においてさまざまな課題を抱える児童などへの接し方や支援の在り方について、実際に放課後児童会アドバイザー自身が直接観察・かかわりを持つ実践的な活動のなかで実効性のある成果が得られた。		
今後の課題と目標	放課後児童会アドバイザーを担うことができる知識・経験を有する人材の継続的な確保が課題である。また、より円滑な放課後児童会運営を行うため、その活動の仕方や現場へのかかわり頻度の再検討、また、恒常的な活動財源を確保するための国の補助金の活用などが重要である。		
【課長コメント】 放課後児童会の需要の高まりとともに、配慮を要する児童への対応を始め、現場には多種多様なニーズが求められており、放課後児童会アドバイザーの指導や助言は、放課後児童会の円滑な運営に重要であり、今後も取り組みを充実させていきたい。			

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	放課後こども支援グループ
事業名	民間放課後児童会運営事業費補助金交付事業		
概要	本市に放課後児童健全育成事業実施の届け出を行った民間事業者が「大阪狭山市民間放課後児童会運営事業費補助金交付要綱」の基準を満たして事業運営を行う場合、その事業に係る必要経費の一部を補助することで、市内の放課後児童会事業を民設民営の立場から補完し、児童の受け入れ体制の充実と一部地域においては待機児童解消の一助とする。		
成果と評価	年度内、3つの民間事業者から放課後児童健全育成事業実施の届け出があった。また、そのうち2つの民間事業者については、「大阪狭山市民間放課後児童会運営事業費補助金交付要綱」の基準を満たして運営していることが確認できたため、補助金の交付対象とした。それぞれ、昨年度は年度当初より待機児童が出ている小学校区に事業所があり、一定受け入れによる効果が確認できた。		
今後の課題と目標	今後、どの程度の民間事業者が本市において事業参入見込みであるのかが掴みにくく、将来的に補助金の交付対象が増えることによる予算規模の拡大が懸念される。また、事業展開する地域においては保護者の選択肢が増えるメリットがある一方、公設児童会とのサービス内容や利用料の違いも見られるため、一部地域における待機児童対策としての効果の見極めも重要である。		
【課長コメント】 民間事業者に対する補助金制度の創設は、待機児童対策の一助として、実効性のある対策の一つであると考えているため、今後もこの制度を充実させていきたい。			

令和元年度点検・評価調書

施策名	子育てにやさしい 環境づくり	担当グループ	放課後こども支援グループ
事業名	放課後児童会事業		
概要	<p>保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童を対象に、遊びや生活の場を提供する放課後児童会事業を全小学校で開設する。</p> <p>東放課後児童会及び北放課後児童会については、引き続き、運營業務を民間委託し、民間ならではの柔軟な発想と運営体制のもと、サービス水準の維持・向上をめざす。</p>		
成果と評価	<p>公設公営（西・南第一・南第二・南第三・第七放課後児童会）、公設民営（東・北放課後児童会）に加え、市内の民設民営放課後児童会に対する運営費補助制度を創設し、児童の受け入れ先拡充の視点から放課後児童会事業の充実を図った。</p> <p>また、引き続き、放課後児童会総括支援員を2名配置するとともに、放課後児童会アドバイザーを3名配置し、現場で働く放課後児童支援員などの抱える事業運営上のさまざまな課題に対する助言などを行うことで、サービス水準の維持・向上につなげた。</p>		
今後の課題と目標	<p>年々、放課後児童会入会希望需要が高まるなか、待機児童を出さない取組みとして、放課後児童会のみではない『放課後の居場所づくり』を推進していく必要がある。また、引き続き、放課後児童会運営を安全・安心に行っていくため、放課後児童支援員の安定的な確保に努めなければならない。</p> <p>今後も、「大阪狭山市放課後児童会条例」及び「大阪狭山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を遵守し、将来にわたり児童の健全な育成を図っていくことが重要である。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>社会状況の変化により、高まる放課後児童会の需要に対応するため民間事業者や放課後の居場所づくりを目的とする他事業との連携も視野に、児童の放課後の居場所を拡充する取り組みを進めていきたい。</p>			

3 点検・評価調書

Ⅱ 学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり

- 「大阪狭山市教育振興基本計画」を今度中に改定します。
- 学校施設の長寿命化を計画的、効率的に実施するため、施設の劣化状況を調査し、その結果にもとづく「学校施設長寿命化計画」を今年度中に策定します。
- 第七小学校（管理棟他）の大規模改造工事を実施します。
- すべての小学校の特別教室に空調機を設置します。
- これからの学校園のあり方検討会を開催し、学校規模の適正化やコミュニティ・スクールの導入に向けた検討を行います。
- 本市の教育振興基本計画の基本理念にもとづき「保育教育指針」を掲げ、これまでの取り組みを基礎に学校教育活動の充実を図ります。
- 子どもたちの学力向上を目的に先進地視察を行い、その成果を指導の工夫や改善に役立てます。
- 次期学習指導要領の全面実施に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組みます。
- ICT機器の活用を推進し、子どもたちが主体となる授業づくりを進めます。
- 教員による手づくり教材である「自ら学ぶノート」を活用し、学習習慣の定着を図ります。
- 中学生を対象にした学習支援を土曜日や長期休業中に実施し、学習機会の保障に努めます。
- 教員と学校図書館司書とが連携し、子どもたちの読書活動がいっそう充実するよう、環境整備に努めます。また、市立図書館とのさらなる連携に向けて、具体策を研究します。
- 学校生活のさまざまな場面で英語でコミュニケーションが取れる環境づくりに努め、生きた英語力の育成を図ります。
- 次期学習指導要領で外国語（英語）学習が必修化されることを踏まえ、小学校へのALT・中学校英語教諭の派遣、研究会などをさらに充実させます。
- 中学校1・2年生を対象にスコア型英語能力検定を実施し、生徒の「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく育成します。
- 障がいのある児童生徒が、障がいの状況に応じた適切な教育が受けられるよう、学びの支援員や特別学びの支援員（看護師）を配置するなど、支援教育の充実を図ります。
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーを積極的に活用し、いじめなど子どもを取り巻く諸課題の未然防止、早期対応、相談体制の充実を図ります。
- 子どもたちの体力向上を図るため、「体力向上プロジェクト」による研究を推進するとともに、学校生活全体を通じて、体力向上や集団づくりを促進します。

- 中学校における部活動の質的な向上と、担当する教員の時間外勤務の削減を支援するため、各中学校に部活動支援員を配置します。
- 発達の段階に応じて人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる子どもの育成に努めます。
- プロミング教育の必修化を踏まえ、児童生徒が使用している教育用コンピュータネットワーク機器を更新します。
- 学校図書館の蔵書率の向上に努めます。また、図書廃棄基準にもとづいて、学校図書を適切に廃棄・更新することで、蔵書の質の向上を図ります。
- 教職員と学校図書館司書とが連携し、子どもたちの読書活動の充実を図るとともに、国語力の向上の取組みを進めます。
- 配送用のコンテナワゴンや学校で使用する配膳台を計画的に更新します。
- 食物アレルギー除去食を、対象の児童生徒に提供します。

【主な事業】

1. 教育振興基本計画改定事業（教育総務グループ）
2. 学校施設長寿命化計画策定事業（教育総務グループ）
3. 学校施設大規模改造事業
 - 【第七小学校大規模改造（管理棟他）工事】（教育総務グループ）
4. 小学校特別教室空調機設置工事（教育総務グループ）
5. 教育用コンピュータネットワーク機器の更新（教育総務グループ）
6. 学力向上推進事業（学校教育グループ）
7. 家庭学習バックアップ事業（学校教育グループ）
8. 学校評価・支援事業（学校教育グループ）
9. 学校まるごとパック事業（学校教育グループ）
10. 読書eプラン推進事業（学校教育グループ）
11. 支援教育事業（学校教育グループ）
12. 生徒指導支援事業（学校教育グループ）
13. 体力向上推進事業（学校教育グループ）
14. 中学校部活動支援人材活用事業（学校教育グループ）
15. 家庭教育支援事業（学校教育グループ）
16. 英語教育支援事業（学校教育グループ）
17. 就学支援事業（学校教育グループ）
18. 安全・安心スクール事業（学校教育グループ）
19. キャリア教育推進事業（学校教育グループ）
20. コンテナワゴン等更新事業（学校給食グループ）
21. 安全・安心な学校給食推進事業（食物アレルギー対応）（学校給食グループ）

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	教育総務グループ
事業名	教育振興基本計画改定事業		
概要	平成 26 年度に教育基本法第 17 条第 2 項にもとづいて、本市における教育振興のための施策に関する基本的な計画を策定した。本計画の期間は、平成 27 年度から令和元年度までの 5 年間となっており、計画にもとづいた施策の進捗状況の検証・評価及び新たな教育施策に関する課題に対応するため、計画の改定を 2 ヶ年で行う。		
成果と評価	教育振興基本計画策定委員会を開催し計画の土台となる基本理念・めざす子ども像、基本方針、さらに計画の骨格となる重点目標や取組施策などについて、多様な意見交換が行われ、次期計画の素案づくりが進められた。令和 2 年 1 月 10 日から 1 月 31 日までパブリックコメントを実施し、計画の内容に反映させた後、第 6 回策定委員会にて最終調整を行い、教育委員会議を経て計画を策定した。		
今後の課題と目標	計画策定後は、制度改正などに柔軟に対応しながら、計画の進捗状況の確認と指標の見直しを行いつつ、着実な施策の実行に努める。		
<p>【課長コメント】</p> <p>次期計画に掲げられた施策を総合的に推進するため、庁内の関係部署との緊密な連携を図りながら進捗管理に努めるとともに、次期計画の推進に係る適切な事業経費配分にも十分留意して、実効性のある計画推進に努める。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	教育総務グループ
事業名	学校施設長寿命化計画策定事業		
概要	<p>学校施設の長寿命化を図るため、平成30年度から令和元年度の2ヵ年で計画策定を行う。</p> <p>対象 小中学校の校舎及び屋内運動場</p> <p>内容 ①学校施設劣化診断調査と評価 ②構造躯体の健全度調査 ③ライフサイクルコスト（LCC）の算出 ④学校施設整備の基本的な方針の策定</p>		
成果と評価	<p>今年度は、前年度に実施した劣化診断調査などの結果にもとづき、各学校のライフサイクルコストの算出や、施設整備に関する基本的な方針を定め、学校施設長寿命化計画を策定した。</p>		
今後の課題と目標	<p>今後は、今回策定した計画にもとづき、計画的に学校施設の長寿命化改修を行う。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>安全で良好な教育環境を確保するためには、学校施設の日ごろからのメンテナンスも必要であることから適切な予防保全にも取り組む。また、学校施設の長寿命化改修には多額の工事費が伴うことから、改修の必要性や他の事業との優先順位を考慮しつつ予算の確保に努める。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	教育総務グループ
事業名	学校施設大規模改造事業 【第七小学校大規模改造（管理棟他）工事】		
概要	<p>第七小学校は建築後 29 年が経過し、施設が老朽化してきている。また、鉄筋コンクリート構造の建物は、適切な補修をすることによりライフサイクルコストを削減することができることから、平成 29 年度の屋内運動場改修に続き、管理棟他の改修を行う。</p> <p>【工事内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水工事 ・外壁改修工事 ・内装改修工事 ・建具改修工事 ・改修工事に伴う電気設備工事、機械設備工事 他 		
成果と評価	<p>老朽化が進んでいた管理棟他の大規模改造工事を施工したことで、学習環境の改善や、照明器具の LED 化による省エネルギー化を図ることができた。</p>		
今後の課題と目標	<p>大規模改造工事が未実施であり老朽化が進行している学校が存在する。今年度策定した学校施設長寿命化計画にもとづき、計画的に改修を行っていく必要がある。</p> <p>工事については、授業への影響を最小限に抑える必要があり、主に夏季休業中の限られた期間内で施工しなければならない。そのため、施工業者及び学校関係者と十分な話しあいを行い、効率的な工事工程・施工計画を立案する必要がある。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>夏季休業中の限られた期間内であったが、工程どおり工事を完了することができた。</p> <p>大規模改造工事が未実施の学校については、学校施設長寿命化計画及び建築基準法などにもとづく法定点検結果を踏まえながら引き続き効果的な改修計画を立案し、厳しい財政状況であるが改修予算の確保に努めるとともに、適切な施設管理・維持保全を推進する。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	教育総務グループ
事業名	小学校特別教室空調機設置工事		
概要	<p>近年の夏場の気温上昇に対応し、児童を熱中症から守るとともに、快適な学習環境を構築するため、全小学校の特別教室に空調機を設置する。</p> <p>【工事内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小学校 3教室 ・南第一小学校 3教室 ・南第二小学校 3教室 ・南第三小学校 3教室 ・北小学校 3教室 ・第七小学校 3教室 <p>※東小学校については、整備済み</p>		
成果と評価	全小学校の特別教室に空調機を設置し、快適な学習環境を整備することができた。		
今後の課題と目標	空調機設置に伴い、特に夏季の電気料金の上昇が懸念される。空調の温度管理を徹底し、不要な電力使用量を抑制するよう学校へ要請していく。		
<p>【課長コメント】</p> <p>夏季休業中の限られた期間内であったが、工程どおり工事を完了することができた。また、今後の課題にも記載しているとおり、環境負荷の低減も含め電気使用量の抑制への効果的な取組みを実施していく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	教育総務グループ
事業名	教育用コンピュータネットワーク機器の更新		
概要	<p>パソコン教室の機器は導入後 10 年近く経過しており、劣化が顕著であることに加え、機器に搭載している OS のメーカーサポートが、令和 2 年 1 月に期限切れとなり、セキュリティ面の強化が必要となる。また令和 2 年度より、新学習指導要領にて小学校プログラミング教育が必修化となることから、学校施設の無線 LAN 環境を有効活用し、時代に沿った ICT 教育環境を整備するため、既存の機器をタブレット型端末に更新し、更なる ICT 教育の充実を図る。</p> <p>【パソコン教室のパソコン更新台数】 ・各小中学校 1 校あたり 43 台 計 430 台</p>		
成果と評価	<p>機器の更新により、パソコン教室からタブレット型端末を持ち出すことが容易となり、普通教室に設置の無線 LAN を活用したグループ学習が可能となった。また、パソコン教室に電子黒板も導入したことから、ICT 教育環境を充実させることができた。</p>		
今後の課題と目標	<p>ICT 支援員を活用するなどして、教職員が ICT 機器を用いてスムーズに授業ができるようサポートしていく必要がある。</p>		
<p>【課長コメント】 ICT 教育環境については、時代に即した授業が実施できるよう、今後の国の動向も踏まえながら、継続的に整備を進めていきたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ															
事業名	学力向上推進事業																	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの国語力向上を図るため、学校図書館の充実・活用を進めることができるよう全校に司書を配置して、個別の状況に応じた読書活動ができるよう図書担当の教員と連携を図っている。また、学習をよりスムーズに進めることができるよう、「さやまっ子ティーチャー」を全校に配置して、学習指導をきめ細かく行うなど、学習サポート体制の強化を引き続き行っている。これにより、子どもたちの読書や学習への意欲を高め、学力向上とりわけ国語力の向上につなげる。 ・小中連携を進めることで学校力の向上を図り、また、子どもたちが落ち着いて学習できる環境を整えたという先進地を視察し、その取組みを積極的に取り入れることで、市全体の学力向上を図る。 ・教職員研修の内容を精査し、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくりについて、大阪府教育庁や学識経験者の指導助言を受ける機会を十分に確保し、それぞれの学校の研究を推進する。 ・放課後や長期休業中に、大学生や地域の人材を「学習支援チューター」として活用し、継続的に学習支援を行う。 ・「理科支援員」として、大学生や退職教職員などの外部人材を小中学校の理科の授業で活用し、観察・実験の充実を図るとともに、準備室の整理整頓をサポートしてもらうことで、教員の働き方改革にもつなげ、教材研究の時間を確保することで質の高い授業の実現を図る。 																	
成果と評価	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 35%;">取組内容</th> <th style="width: 50%;">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">さやまっ子ティーチャー</td> <td>地域の方が各小中学校の授業に入り、子どもたちの学習を支援する。</td> <td>子どもたちがわからないことを積極的に質問し、安心して学習活動に取り組むことができ、学習への意欲が高まった。また、配慮を要する生徒の心の安定に結びついた。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">先進地視察</td> <td>京都府久御山町の視察・体験研修に小中学校の教員 12 人と指導主事が参加した。</td> <td>管理職や学力向上担当者を対象とした報告会では、視察に参加した教員の感動や久御山町の工夫が伝えられ、参考にすることができた。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">授業改善</td> <td>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。</td> <td>意見や考えを伝えたり、広めたりすることで、深い学びのある授業が広がってきた。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">理科支援員の配置</td> <td>各校で支援員が、観察・実験の支援・補助を行った。</td> <td>理科室の環境整備が進み、教員の教材研究の時間が確保され、より丁寧な授業づくりが実現している。</td> </tr> </tbody> </table>			項目	取組内容	成果	さやまっ子ティーチャー	地域の方が各小中学校の授業に入り、子どもたちの学習を支援する。	子どもたちがわからないことを積極的に質問し、安心して学習活動に取り組むことができ、学習への意欲が高まった。また、配慮を要する生徒の心の安定に結びついた。	先進地視察	京都府久御山町の視察・体験研修に小中学校の教員 12 人と指導主事が参加した。	管理職や学力向上担当者を対象とした報告会では、視察に参加した教員の感動や久御山町の工夫が伝えられ、参考にすることができた。	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。	意見や考えを伝えたり、広めたりすることで、深い学びのある授業が広がってきた。	理科支援員の配置	各校で支援員が、観察・実験の支援・補助を行った。	理科室の環境整備が進み、教員の教材研究の時間が確保され、より丁寧な授業づくりが実現している。
項目	取組内容	成果																
さやまっ子ティーチャー	地域の方が各小中学校の授業に入り、子どもたちの学習を支援する。	子どもたちがわからないことを積極的に質問し、安心して学習活動に取り組むことができ、学習への意欲が高まった。また、配慮を要する生徒の心の安定に結びついた。																
先進地視察	京都府久御山町の視察・体験研修に小中学校の教員 12 人と指導主事が参加した。	管理職や学力向上担当者を対象とした報告会では、視察に参加した教員の感動や久御山町の工夫が伝えられ、参考にすることができた。																
授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。	意見や考えを伝えたり、広めたりすることで、深い学びのある授業が広がってきた。																
理科支援員の配置	各校で支援員が、観察・実験の支援・補助を行った。	理科室の環境整備が進み、教員の教材研究の時間が確保され、より丁寧な授業づくりが実現している。																

	生きる力向上 推進室	研修や学校訪問を通して教職員の育成や大学との連携、全国学力・学習状況調査の分析を行った。	全国学力・学習状況の分析や実習生の受け入れを含む大学との連携をスムーズに進めることができた。
今後の課題 と目標	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度からの小学校新学習指導要領完全実施を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりに引き続き取り組むとともに、教務主任や学力向上担当教員を対象とした「授業力向上研修」など、授業づくりに重点をおいた研修を実施し、小中学校の校種間連携を図ることで指導方法に系統性を持たせる。 全国学力・学習状況調査の結果から国語力の育成に課題がみられた。今後は、学校図書館の活用をさらに推進し、読書活動の充実を図ることで、子どもたちの国語力の向上を推進していくとともに、身に付けた学習内容を実生活のどこで活用していくのかを考えさせたり、実際にその力を活用して問題解決に取り組むような学習を行ったりしながら、学力の定着を図っていく必要がある。 		
<p>【課長コメント】</p> <p>子どもたちの国語力の向上については、授業力向上研修で学校図書館を活用した授業づくりの実践事例を積極的に公開し、教職員間の情報交流を活発化させていくなど、今後も重点的に取り組んでいく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	家庭学習バックアップ事業		
概要	中学校3年生の希望者を対象とした家庭学習支援教室「はなまる学習室」を、長期休業中と2学期以降の土曜日を実施する。学習環境を保障することで家庭学習の機会を増やし、子どもたちの学力向上をめざす。		
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校区ごとに学習室を開設（狭山中学校は大阪狭山市役所内及びフリースクールみ・ら・い、南中学校はコミュニティセンター、第三中学校は社会教育センター）し、長期休業中に10回、2学期以降の土曜日10回の合計20回実施した。 ・ 参加した中学生は、各自で長期休業中の課題や、自習用教材を準備し、家庭学習バックアップリーダーや家庭学習パートナーのアドバイスを受けながら自主的に学習に取り組んだ。 ・ 休憩時間に家庭学習バックアップリーダーや家庭学習パートナーは参加者たちとコミュニケーションを図り、必要に応じて個別的に学習や進路の相談を行った。 		
今後の課題と目標	家庭学習パートナーは、中学生に対して学習支援を行うとともに、自分の経験を踏まえた学習や進路のアドバイスを行う役割も担っており、思春期の中学生の発達段階を理解し、一人ひとりの子どもに寄り添う力が求められる。事業の継続にあたっては、今後も学校と連携して適切な人材を確保していくことが必要である。		
<p>【課長コメント】</p> <p>長期休業中や週休日に、退職した教員や地域人材による学習支援を受けながら自主学習に取り組むことができる本事業には、毎年一定のニーズがある。家庭事情により学習塾などを利用できない生徒をフォローするためにも、今後も人材を確保して事業を継続していきたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	学校評価・支援事業		
概要	<p>学識経験者・元校長からなる「学校づくり応援団」が年間4回の学校訪問を行い、各校の教育方針やめざす子ども像にもとづき、実践している重点的な取組みを中心に参観し、具体的なアドバイスや学校評価を行うことを通して、学校力の向上を図る。</p>		
成果と評価	<p>今年度は南第一小学校、南第二小学校、南第三小学校、南中学校において本事業を実施した。南第一小学校では、令和2年度の新学習指導要領完全実施に向けてプログラミング教育に先行的に取り組み、市内各小中学校へ成果を普及するべく授業公開を行ってきた。このように、大学教授や校長経験者が「学校づくり応援団」として授業や行事、校内研究の様子などを継続的に参観し、子どもたちの変容や教職員のかかわり方を直接把握した上で、効果的な取組みを評価したり改善すべき課題を指摘したりした。また、「学校づくり応援団」のメンバーがそれぞれ他市や他校の実践の紹介や経験を踏まえた具体的なアドバイスを行うことで、学校がこれまでの取組みを振り返るとともに、学校公開の在り方や授業づくりなど、改善していくための具体的な支援ができた。</p>		
今後の課題と目標	<p>「学校づくり応援団」による学校評価の活用により、管理職だけでなく、ミドルリーダーが学校の核となって自らの役割を認識し、教員間の連携を強化していった学校が見られ、大変効果的であった。今後も管理職だけでなく、教職員一人ひとりが学校運営の当事者として意識を高め、組織的に学校力を向上させていくことができるよう、「学校づくり応援団」の効果的な活用について検討していく。</p>		
<p>【課長コメント】 学識経験者と元校長による1年間を通じた学校評価により、学校の特色ある取組みや今日的な課題への対応が整理され、魅力ある学校づくりの充実につながっている。第三者から客観的に学校評価していただく貴重な機会となっており、今後も継続して実施していく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	学校まるごとパック事業		
概要	<p>学校をまるごと市内教職員や市民に公開する。全学級の授業や清掃活動、休み時間の様子や学習環境などについて外部から評価を受けることで、学校運営の改善と発展をめざすとともに、各中学校区学校園の連携を深める。3つの校区からそれぞれ1校は発表する機会を設け、発表する学校の偏りがないようにしている。</p>		
成果と評価	<p>各校とも、学校目標や研究テーマに沿った授業を公開したり、実践報告を行ったりして、重点的な取組みを市全体へ発信している。本事業を実施することで、学校の日々の取組みが外部からの評価をうけ、教職員自身も自分たちの普段の実践を振り返る機会となり、学校運営の発展につながっている。</p> <p>授業の公開は、教職員だけでなく保護者や地域の方々にも学校の様子を見ていただける良い機会となっている。授業の公開後には、校区の保幼小中の教職員による情報交換会や分科会などを行うなど、各校区の子どもたちの実態に即した課題について、共有化を図り、日々の指導や支援に活用することができている。</p>		
今後の課題と目標	<p>本事業に期待する効果を実施校がどのように設定するかによって、事業実施後の効果や取組みの方向性も少しずつ違ってきている。地域資源の効果的な活用について伝えるだけでなく、学校文化や学校独自の取組みを重点的に公開する学校も現れてきていることから、公開前にねらいを明確にし、より積極的に本事業を活用することが大切であると考えている。学校公開と大阪府の研究指定事業などの実践報告とを組み合わせて、参加者が授業づくりや学校運営についてさらに効果的に学ぶことができるよう、取組みを充実させていきたい。</p>		
<p>【課長コメント】 まるごとパック学校公開により、「開かれた学校づくり」の進捗状況を、教職員のみならず、保護者や市民に対して定期的に情報提供することができている。近年学校と保護者、地域の連携が増々重要視されてきており、本事業が担う役割も非常に大きくなってきていると考えている。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	読書eプラン推進事業		
概要	<p>読書感想画コンクールなどの各種コンクールを実施し、発表や表彰の場を設定する。</p> <p>子どもが本に親しみ読書の楽しさを知るなかで、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにできるよう、全校に学校図書館司書を配置し、読書活動の充実を図る。</p>		
成果と評価	<p>平成22年度から実施の各コンクールには、下記のとおり本年度も多数の応募があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○読書感想文（小学生） : 2,631 作品 ○読書感想画（保幼こ小中） : 2,733 作品 ○図書館を使った調べる学習（小中） : 1,302 作品 <p>また、eプラン図書、絵本の学校園への貸し出しを実施した。ボランティアを活用した「ひろば読み」は、幼稚園1園、こども園1園、小学校全校で実施し、子どもたちが楽しく、意欲的に絵本に親しむ機会を作ることができた。</p>		
今後の課題と目標	<p>学校図書館司書を小中全校に配置していることから、図書室の環境整備が充実してきている。今後も、模範的な取組みを市内全域の学校に広められるよう、学校図書館司書同士の交流の機会を設定し、蔵書点検や環境整備の好事例の普及を図っていく。また、学校図書館司書の力量を高めるための市教委主催の研修も充実させていく。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>近年、児童生徒が読書に親しむ習慣づくりや言語能力の向上が大きな教育課題となっており、今後も読書eプラン事業の実施を通して、児童生徒の読書環境の充実や学力向上に努めていきたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	支援教育事業		
概要	<p>心身に障がいのある児童生徒が、障がいの状態に応じた適切な指導が受けられるよう、「学びの支援員（介助員）」を各校に配置する。また、医療的ケアが必要な児童生徒が在籍する学校には、看護師免許を有する「特別学びの支援員」を配置する。</p> <p>発達障がいのある子どもの理解のための教育相談、子どもの観察や発達検査結果にもとづくアセスメント、障がいの状況に応じて行われる自立活動についての理解・実践、またそれらに係る研修などを、学識経験者や医師などと連携しながら行う。</p> <p>また、発達検査（WISC-IV）を活用した子ども理解や指導支援ができる教員の育成に向けて、専門家による継続的な研修を実施する。</p>		
成果と評価	<p>今年度、市内の小中学校に設置した 36 の支援学級に対して、21 人の学びの支援員を配置した。また、小学校 3 人・中学校 3 人の児童生徒に対して、6 名の特別学びの支援員を配置した。</p> <p>学識経験者や医師など連携しながら、次の①～⑤の活動を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教育的配慮が必要な児童生徒に関する教育相談及び巡回指導 ② 市主催研修や校内研修での講話 ③ 通級指導教室における自立活動や MIM 指導（流暢な読みに課題がある児童への支援）に関する指導助言 ④ 小中学校の管理職を対象にした「管理職のリーダーシップのもと実施される支援教育の推進」研修の実施による学校経営上の留意点についての共通理解 ⑤ 発達検査（WISC-IV）を活用した子ども理解研修 		

<p>今後の課題 と目標</p>	<p>近年、支援学級に入級する児童生徒数が増加してきており、学びの支援員や特別学びの支援員をニーズに応じて確保することが難しくなってきた。</p> <p>一方、通級指導教室担当者やMIM指導主担者、支援コーディネーターなどへ継続的に研修を重ねることにより、子ども一人ひとりへのきめ細かな指導がより充実するとともに、低学年におけるMIM指導を全小学校で実施することができた。今後も子どもの状態を適切に把握し、早期支援につなげられるよう取組みを充実させていく。</p> <p>発達検査（WISC-IV）については、検査自体は専門家や医療機関が行うことを基本としながらも、結果から得られる具体的な支援の方向性について、学校現場でリーダーシップを発揮する教員のさらなる育成に継続して取り組むとともに、児童生徒、保護者からの教育的ニーズに対して学校全体で支援していけるよう、さらに組織対応力を強化していく。</p>
<p>【課長コメント】</p> <p>支援教育推進の観点からは、子どもたち一人ひとりを大切にする学校づくりを進める上で、非常に重要であると考えている。今後も障がいのある児童生徒が障がいの状態に応じた支援を適切に受け、意欲的に学校生活を送ることができるよう、学習のサポートや教職員対象研修を今後も充実させていく。</p>	

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	生徒指導支援事業		
概要	<p>子ども・保護者・教員の相談対応やいじめなど問題発生時に、学校訪問による支援を行う「生徒指導サポーター」を配置する。</p> <p>児童生徒の悩みに対して専門的にアドバイスを行うスクールカウンセラーや、子どもを取り巻く環境に注目して、関係機関との連携を図りながら問題解決にあたるスクールソーシャルワーカーを配置する。また、今年度より、いじめ事案などの対応において法的根拠にもとづいた課題解決にむけて、弁護士(スクールロイヤー)に相談できる体制を整えた。</p>		
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導サポーターは定期的に市内の小中学校を訪問し、各校の生徒指導事案に積極的にかかわっている。各校での生徒指導事案を的確に把握し、適切な助言を教員に行うとともに、若手教員の学級経営上の悩みなどを個別に聞き取り、アドバイスを行うなど高いスキルを発揮している。 ・スクールソーシャルワーカーについては市単費で本年度4人を配置・派遣している。各校の実態に応じ学校長からの要望を受け効果的に活用できるよう計画書を作成し、配置校3校、派遣校4校で取組みを進めている。課題に対して福祉の専門的な立場から指導・助言することにより、児童生徒や保護者の困り感に寄り添いながら解決に向けて具体的な取組みを進めることができている。 ・スクールカウンセラーについては2名を市費で配置し、1名は小学校を中心に巡回訪問、もう1名は小学校1校に重点的に配置して、児童生徒や保護者、教職員対象の相談を行っている。 ・スクールロイヤーについては、法的根拠にもとづいたいじめ対応のアドバイスを教職員が直接受けることで、学校体制による組織な対応につなげることができている。 		
今後の課題と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、生徒指導事案が不登校、SNSトラブル、虐待など多様化・複雑化してきており、学校の教職員だけで解決を図ることが難しいケースが増えてきており、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる、心理や福祉の観点からの支援が必要不可欠な状況である。子どもや保護者を取り巻くさまざまな事象に対する学校の組織対応を支援するため、今後も本事業を充実させていきたい。 		
<p>【課長コメント】</p> <p>今後も学校がスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーなどの外部専門家と連携し、効果的に生徒指導事象に対応できるよう、本事業を継続実施していく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	体力向上推進事業		
概要	<p>児童生徒の体力・運動能力の向上をめざして、小学校に体育指導支援員、中学校に剣道指導支援員を配置し、体育指導の充実を図る。</p> <p>運動会の組体操における安全性を確保するため、体力向上担当教員連絡会において指導上の留意点を確認する。</p> <p>新体力テストの結果を経年比較も踏まえて考察し、課題改善に取り組む。</p>		
成果と評価	<p>小学校体育指導支援員として、市内7小学校に11名を配置した。また、市内3中学校に3名の剣道指導支援員を配置した。外部指導者の専門的な指導支援により、きめ細かく安全な体育指導を行うことができた。</p> <p>新体力テストの正確な測定の実施のため、各小学校に桃山学院教育大学の学生をサポーターとして招聘した。学生の協力のもと、測定の補助やデモンストレーションを行うことで、児童の実態を正確につかむための一助となった。また、新体力テストの結果から、自校の課題を捉え、体力向上に係る備品を購入し、計画的に課題改善に取り組むことができた。</p> <p>組体操の安全な実施に向けて、大阪府教育庁の通知に則って実施することで、事故の未然防止に努めるとともに、担当者連絡会で情報交換を行い、好事例を共有することで、組体操に代わる表現運動の在り方について考えることができた。</p>		
今後の課題と目標	<p>本年度も全小中学校の全学年で新体力テストを実施した。正確な測定が児童生徒の実態を把握するために最も重要であり、その結果から各校の体力向上における課題を見出すことができる点について、教職員や児童生徒の理解を一層高めることができた。また、組体操については大阪府教育庁の通知に則って実施することで、安全に配慮して取り組むことができた。</p> <p>児童の体力の状況に応じて演技の内容を柔軟に見直したり、従来のように高さを追求するのではなく、平面の動きを工夫した演技構成を提案し実施したりしている学校もあった。各校の安全配慮に対する意識は非常に高まってきているが、予想外の事故が生じる可能性を踏まえ、今後も過去の事件事例を参考にしながら、安全な組体操実施に向けて研修を重ねていきたい。また、義務教育9年間を見通した体力と運動意欲の向上にも重点を置き、取組みを進めていきたいと考えている。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>体育指導支援員や剣道指導支援員、学生サポーターの協力のもと、児童生徒の体力の状況に応じた指導に取り組むことができている。組体操については、今後も大阪府教育庁の通知を踏まえて安全に実施できるよう、各校に指導していく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	中学校部活動支援人材活用事業		
概要	<p>中学校における部活動の質的な向上と、担当する教員の時間外勤務の削減を支援するため、各中学校に部活動指導員を配置する。</p> <p>また、生徒の多様な部活動の希望に答えるため、専門的な知識や技能を持った地域人材を、部活動支援員として各中学校に配置し、部活動の充実を図る。</p>		
成果と評価	<p>今年度は、市内の3中学校に4名の部活動指導員を配置し、卓球部、男子バスケットボール部、サッカー部、ソフトテニス部で部活動の充実を図った。(10月～1月末現在、合計276回活用)</p> <p>部活動指導員を配置したことで、他の担当教員が計画的に休暇を取得することができるなど、教職員の負担軽減につながった。</p> <p>また、部活動支援員連絡会を実施し、部活動支援員同士で情報交換することを通して、地域連携による部活動支援の状況について共通理解することができた</p>		
今後の課題と目標	<p>部活動指導員の活用は、中学校教員の業務負担軽減に直接つながっていく事業であり、部活動指導員の配置数を拡充していくことで、さらに効果を発揮していくと考えている。配置校への調査を通して事業の効果を検証し、さらに部活動指導員の配置数を拡充していけるよう努めていきたい。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>教員の働き方改革を進める上で、部活動指導員の配置は大きな役割を果たすと期待している。今後より多くの部活動を支援していけるよう、事業の効果をしっかり検証して、事業の充実に努めていきたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	家庭教育支援事業		
概要	<p>中学校区ごとに地域人材などで支援チームを設置し、不登校や問題行動など、生徒指導上課題のある児童生徒の保護者に対し、家庭教育サポーターリーダーや家庭教育サポーターが個別訪問を通して、保護者や児童生徒への相談や学習支援を行う。</p>		
成果と評価	<p>保護者との面談を担当する家庭教育サポーターリーダー（令和元年12月末現在で200回活用）が中心となり、不登校児童生徒や家庭への支援など、相談活動及び学習支援を行っている。定期的に学校を訪問し、活動状況や各ケースに対する支援の方向性について情報交換を行っている。また、市の適応指導教室「フリースクールみ・ら・い」とも連携を図るなど、不登校児童生徒や保護者へのサポートを継続的に行っている。</p> <p>要請に応じて各校のケース会議にも参加し、市内の福祉機関職員、生徒指導担当教員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して課題解決に努めている。</p> <p>大阪府の家庭教育支援担当課よりこれまでの取組みを高く評価していただき、令和2年2月には大阪府教育庁主催による実践報告会での報告を予定している。</p>		
今後の課題と目標	<p>家庭環境や親子関係、子育ての悩みを気軽に相談できる相手を求めている児童生徒や保護者は、ここ数年増加傾向である。このような状況から、家庭教育サポーターリーダーのニーズは依然として高い状況である。生徒指導担当指導主事や各校の生徒指導担当教員ともさらに連携しながら、より効果的な活用に努める。</p> <p>ただ、家庭教育サポーターの担い手である学生ボランティアが不足しており、児童生徒の状況に対して十分な数のサポーターを確保できていないことが課題である。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>家庭教育サポーターリーダーによる戸別訪問や相談支援により、子育ての不安や不登校の悩みをやわらげることができている保護者も多い。今後も学校と家庭教育サポーターリーダー、家庭教育サポーターの連携により、生徒指導上の課題解決に取り組んでいく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	英語教育支援事業		
概要	<p>英語教育の充実のため、小学校5・6年生と中学校に外国語指導助手（ALT）を配置するとともに、小学校3・4年生の外国語活動の授業においては、NPO 法人との連携を図る。</p> <p>中学校1・2年生を対象にスコア型英語能力検定を実施し、生徒の「聞く・話す・読む・書く」の4技能の取得状況を把握し、課題に応じた取組みを進めることで、4技能をバランスよく育成する。</p>		
成果と評価	<p>小中学校に外国語指導助手（ALT）を配置することにより、児童生徒がネイティブスピーカーの生きた英語に触れることができ、授業における「聞く」「話す」活動を充実させることができた。また、小学校では NPO 法人と連携して英語の堪能な地域支援人材を派遣することにより、授業において英語に慣れ親しむ活動を充実させることができた。</p> <p>スコア型英語能力検定では、生徒自身が「前回の成績から各技能がどれだけ伸びたか」を数値で確認することができるので、自分なりに到達目標を設定して意欲的に英語学習に取り組むことができた。また、スコア型英語能力検定を通して、教員が生徒一人ひとりの英語運用能力を把握し、効果的な授業づくりに反映させることができた。特に、「話す」「書く」場面では、伝えたい内容を簡単な表現（自分が分かる表現）に直してからを話したり、書いたりすることで、生徒が臆することなく英語を使えるようになっている。</p>		
今後の課題と目標	<p>スコア型英語能力検定の結果から、本市の生徒は4技能のうち「書く」技能について、一定の力をつけている一方で、「聞く」技能に課題がある。また、今年度実施された全国学力・学習状況調査「英語」の結果から、語順や相手を意識したやりとりに課題がある。</p> <p>今後は、ALT を活用し、英語の使用場面の設定を細かく行い、子どもたちが英語を使用して問題解決を行うような授業づくりを推進していく必要がある。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>ALT や英語支援人材、スコア型英語能力検定の活用により、今後も児童生徒の英語学習の意欲を向上させていくとともに、効果的な英語の授業づくりを一層充実させていく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	就学支援事業		
概要	<p>経済的な理由により、就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行う。</p> <p>新入学児童生徒学用品費等の国基準単価が引き上げられたことから、対象児童生徒への支給額を増額する。</p>		
成果と評価	<p>平成31年度より、文部科学省の「生活保護児童生徒援助費補助金」の「新入学児童生徒学用品費等」の単価が、小学校で40,600円から50,600円に、中学校で47,400円から57,400円に引き上げられたことにより、就学支援事業においても単価の増額を行い、今年度は小学校65名、中学校84名の児童生徒の家庭に入学準備金を支給した。</p> <p>また、令和元年12月末現在で小学校494名、中学校299名に対して、学用品費などの就学援助を行った。</p>		
今後の課題と目標	<p>今後も支援が必要な家庭に本事業が十分行き届くよう、教育委員会窓口や学校での十分な周知に努めていきたい。また、ここ数年文部科学省の「生活保護児童生徒援助費補助金」の基準単価が毎年見直され、増額する傾向にある。今後も本市の就学援助費が国基準と同様となるよう、可能な限り努めていきたい。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>児童生徒が経済的事情による不利益を被ることなく、学習する権利が保障されるよう、今後も本事業の周知と充実に努めていく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	安全・安心スクール事業		
概要	地域防災の担い手となる中学生の防災意識と防災行動力の向上を目的に、心肺蘇生法やAEDなど救命手当についての「普通救命講習」を実施し、中学生が資格を取得できるよう取り組む。		
成果と評価	<p>各中学校の保健体育の授業などで行った救急救命についての学習を踏まえ、防災防犯推進室、消防本部救急グループとともに、全中学校3年生を対象に「普通救命講習」を実施した。生徒たちは講習のねらいをよく理解し、真剣に受講していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭山中学校：6月11日（火）、12日（水）実施180名受講 ・南中学校：6月13日（木）、14日（金）実施138名受講 ・第三中学校：7月8日（月）、9日（火）実施155名受講 		
今後の課題と目標	<p>初めて心肺蘇生法に取り組む生徒がほとんどだったため、いざ実技となると躊躇する生徒も見られたが、安全安心推進リーダーなどの助言を受けながら繰り返し取り組むことで、コツを学び取ることができていた。実際に声を出しながら真剣に取り組むことができた。今後も安全安心推進リーダーの支援をお願いしたい。</p> <p>また、令和3年度の消防広域化に伴い、安全・安心スクールの実施について検討していく必要がある。防災防犯推進室と更なる連携を深めるとともに、外部機関の協力も視野に入れながら継続していきたい。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>本事業は、中学生向けの防災教育の一環として、学校が関係部局や市民と連携して実施しており、大変意義深い取り組みであるととらえている。消防広域化に伴い、実施体制の再検討が必要であるが、令和3年度以降も継続実施できるよう計画していきたい。</p>			

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校教育グループ
事業名	キャリア教育推進事業		
概要	<p>子どもが自ら企画・運営する体験活動などを通して、子どもたちが自分らしさを発見したり、自信をつけたりするとともに、職業意識の向上と自尊感情の育成を図る。</p> <p>タイムリー研修を実施し、中学校区の保幼小中の連携を通じた実践発表会や講演会を実施する。その研修を通して、校種間連携の大切さに気づき、教職員自身が自らの取組みを振り返り、改善していくことで、キャリア教育に係る教職員の資質向上を図る。</p>		
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> すべての中学校区で作成しているキャリア教育全体指導計画の様式を市内で統一し、「中心取組み」を意識したキャリア教育の推進を図ることができた。 どの中学校区においても、独自の研修や担当者会議を開催し、各校の取組内容の共有を行いながら進めることにより、校種間の段差や取組みの重複を少なくすることができた。また、次年度からスタートする「キャリアパスポート」について理解を深め、実際に使用するワークシートの案を作成したり、検討したりすることができた。 中学校の教員が、校区の小学校6年生を対象に出前授業を行ったり、入学説明会の際に体験授業を実施したりすることで、小中学校間の学習段差の解消に努めた。 		
今後の課題と目標	<p>タイムリー研修での実践報告を通して中学校区の教職員が校区の保幼小中の連携や取組みの点検・評価を行う機会となっている。また、他の中学校区とも情報共有することができ、それぞれの校区の取組みに生かすことができている。今後は、キャリアパスポートとキャリア教育全体指導計画を活用し、中心取組みによる子どもたちの変容を客観的に把握し、次の取組みを工夫改善していく PDCA サイクルを確実に回していくことが必要であると感じている。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>令和2年度より小中学校で新たに「キャリアパスポート」の取組みをスタートさせる。これにより、9年間でどのようなキャリア教育の足跡を蓄積していくのか、小中学校間の連携がより重要となってくる。このような観点からも、中学校区ごとの保幼小中の連携に今後一層取り組んでいきたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校給食グループ
事業名	コンテナワーゴン等更新事業		
概要	老朽化した配膳台とコンテナワーゴンを、安全面と衛生面の問題から必要数を入れ替え安全・安心な学校給食に努める。		
成果と評価	<p>1 成果 配膳台 20 台とコンテナワーゴン 8 台を入れ替えた。</p> <p>2 評価 配膳台とコンテナワーゴンを一部入れ替えたことにより安全面と衛生面が向上したことから、安全・安心な学校給食の運営を図ることができた。</p>		
今後の課題と目標	より安全・安心な学校給食を運営するために、今後も配膳台とコンテナワーゴンを順次計画的に入れ替える必要がある。		
<p>【課長コメント】 備品などについては、まだ古い備品が残っている。今後も計画的に更新を進めていく。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境づくり	担当グループ	学校給食グループ
事業名	安全・安心な学校給食推進事業(食物アレルギー対応)		
概要	食物アレルギー除去食（デザートの代替含む）の提供を行うとともに、一人でも多くの児童生徒が給食を食べられるよう、アレルゲンを含まない食材の研究を行うなど、より安全・安心な学校給食の充実を図る。		
成果と評価	<p>1 成果</p> <p>(1) 対象者に対し、卵、乳製品（牛乳、チーズ、ヨーグルト、バター、脱脂粉乳）、いか、えび、かにの5種類9品目を除去した食物アレルギー対応食を提供した。</p> <p>(2) 4月現在において、42人（小学校32人・中学校10人）の児童生徒に対し、除去食を提供した。</p> <p>2 評価</p> <p>献立を工夫することにより、児童生徒及び学校の負担を軽減することができた。</p>		
今後の課題と目標	保護者、学校、給食センター相互の連絡を密に取ることにより、誤食を防止し、より安全・安心な学校給食を提供する。		
<p>【課長コメント】</p> <p>献立表などの表示ミスなども大きな事故につながることもある。資料作成などについても充分チェックした上で周知を行っていく。</p>			

Ⅲ 生涯スポーツの推進

- 市民の体力維持・向上を図るため、体育協会やスポーツ推進委員会、総合型地域スポーツクラブなどと連携した事業を実施します。
- 地域住民とのコミュニケーションづくりを進めるため、「さやりんピック」を開催します。
- 3市（富田林市・河内長野市・大阪狭山市）共催で、子どもから大人までの市民が身近にプロ野球観戦できる機会として、プロ野球ウエスタンリーグ公式戦を主とした交流事業、ドリームフェスティバルを実施します。

【主な事業】

1. ドリームフェスティバル事業（社会教育・スポーツ振興グループ）
2. スポーツ振興事業（社会教育・スポーツ振興グループ）

令和元年度点検・評価調書

施策名	生涯スポーツの推進	担当グループ	社会教育・スポーツ振興グループ
事業名	ドリームフェスティバル事業		
概要	<p>プロ野球公式戦を身近で観戦することにより、スポーツに対する意識の高揚と、子どもたちの夢を広げることを願うとともに、行政をはじめ、地域の各種団体が支援・協力することにより、地域の活性化を図り、スポーツの振興、青少年の健全育成並びに市民生活の向上に寄与することも目的として、3市（大阪狭山市、富田林市、河内長野市）共催ドリームフェスティバルを開催運営する。</p>		
成果と評価	<p>3市共催で事業を実施したことで、担当者などの打ちあわせを重ねる必要があったが、広域に連携できたことは意義深いことだった。当日はたくさんの観戦者が来場し、プロスポーツを身近に観戦でき、さらには選手とキャッチボールやベースランニングも体験でき、スポーツを楽しむこと十分味わえた。</p>		
今後の課題と目標	<p>観戦者や参加者の増加をめざし、周知方法の見直しや、より多くの子どもたちが、プロスポーツ選手と交流できる機会を増やしていきたいような企画運営をしていきたい。</p> <p>また、野球のみではなく、さまざまなプロスポーツ選手と交流できるような場を提供していきたい。そして必要とあれば、他市町村との広域連携も視野に交流を図っていきたい。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>今後については、他市町村や各種団体とのスポーツ事業の連携など、他の先行事例を研究しながら検討を進めていきたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	生涯スポーツの推進	担当グループ	社会教育・スポーツ振興グループ
事業名	スポーツ振興事業		
概要	<p>市民が、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、だれでもスポーツを楽しめる生涯スポーツ社会の実現をめざし、その実現に向けて、スポーツ施設の整備を充実するとともに、市民、各種団体との連携を図りながら、市民にとって身近な地域における活動機会の充実や体力の維持・向上の取組みを支援する。</p> <p>サタデースポーツや地域の小中学校体育館・運動場を平日の夜や休日を利用しての無料開放、また夏季プール無料開放を行うなど、市民がスポーツに親しむ土壌を醸成してきている。</p> <p>行政をはじめ、地域の各種団体が連携することにより地域の活性化を図り、スポーツの振興、青少年の健全育成並びに市民生活の向上に寄与することを目的としている。</p>		
成果と評価	<p>スポーツ施設の整備については、市民が安全に安心して使用できる施設をめざして、総合体育館メインアリーナ床改修工事を実施した。引き続き、改修については、市公共施設長寿命化計画と整合性を図り、優先順位を決めて行っていく。</p> <p>市内体育協会の協力のもと、土曜日の午前中に児童生徒を対象に行っているサタデースポーツ（令和元年度からラグビー追加）、また小中学校体育館や運動場の無料開放、市民が気軽にスポーツに親しむ場としての位置づけとなってきている。</p> <p>総合体育館のトレーニングルームについては、昨年度より利用者数増となっており、市民の健康年齢の引き上げにも大きく貢献したと考えられる。</p>		
今後の課題と目標	<p>今後については、ニュースポーツや障がい者スポーツの導入など、それぞれのライフステージにあわせてスポーツが楽しめる生涯スポーツ社会の実現をめざし、各種団体との連携や施設整備に努めていきたい。</p> <p>また、総合型地域スポーツクラブと連携し、スポーツを通じた子どもの居場所づくり事業の充実をめざしていきたい。</p> <p>特に、働く世代にもスポーツに親しんでもらえるような取組みや子育てに役立つスポーツ教室などの事業を展開していきたい。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>市内のスポーツ活動団体の活動場所などを把握し、一覧表にまとめて市民のスポーツニーズとのマッチングを図ることに生かしていく。また、世代間を超えても競技できるニュースポーツの導入や障がい者スポーツの普及などを視野に入れ、安全・安心なスポーツ環境づくりに努めていきたい。</p>			

3 点検・評価調書

IV 生涯学習の推進

- 市民のみなさんに学習機会の提供、学習活動のきっかけづくりに努めます。
- さまざまな社会教育事業を通じて、地域活動に主体的にかかわる人材の育成に努めます。
- 市民の学習ニーズの把握に努め、指定管理者との連携を深めながら、事業内の充実を図ります。
- 社会教育センターの屋上防水工事を実施します。

【主な事業】

1. 社会教育センター管理事業（社会教育・スポーツ振興グループ）

令和元年度点検・評価調書

施策名	生涯学習の推進	担当グループ	社会教育・スポーツ振興グループ
事業名	社会教育センター管理事業		
概要	老朽化した社会教育センターの屋上防水工事を行い、市民が安全で安心して利用できるように、社会教育施設の整備を行う。		
成果と評価	市民が安全で安心して利用できるよう、屋上防水工事を行った。		
今後の課題と目標	老朽化している空調機の入替工事など、計画的に実施していく。		
【課長コメント】 市民が安全で安心して利用できるよう、優先順位を考えて計画的に施設改修に取り組みたい。			

V 市民文化・歴史文化の振興

- 本市が所有する狭山藩北条氏に関する歴史資料を活用し、その魅力を発信するため、狭山藩北条氏をテーマとした特別展を開催します。
- 狭山ニュータウン活性化事業の一環として、入居開始から 50 年を迎える狭山ニュータウンのまちの変遷を紹介するパネル展を開催します。
- 古文書など歴史資料の保存と活用を図るため、本市が保管しているマイクロフィルムの電子データ化を進めます。

【主な事業】

1. 郷土資料館管理事業（歴史文化グループ）
2. 狭山ニュータウン 50 周年記念パネル展事業（歴史文化グループ）
3. 狭山池の魅力発見活用事業（狭山池シンポジウム）（歴史文化グループ）
4. マイクロフィルム電子化事業（歴史文化グループ）
5. 文化財保護推進事業（歴史文化グループ）
6. 市史編さん事業（歴史文化グループ）
7. 埋蔵文化財発掘調査事業（歴史文化グループ）
8. 子ども向け講座実施事業（歴史文化グループ）

令和元年度点検・評価調書

施策名	市民文化・歴史文化 の振興	担当グループ	歴史文化グループ
事業名	郷土資料館管理事業		
概要	<p>令和元年に、狭山藩中興の祖である5代藩主・北条氏朝の生誕350年を迎えるにあたり、市内に残された藩主関連の品々を中心に展示する特別展「狭山藩中興の祖 北条氏朝公誕生350年記念特別展 さやまのお殿さま―藩主北条氏の足跡―」を開催する。</p> <p>また、小学校3年生の単元学習に合わせ、むかしのくらしを紹介する企画展「くらしの道具展」を開催する。</p>		
成果と評価	<p>大阪府立狭山池博物館の特別展示室において、令和元年12月7日（土）から令和2年1月19日（日）まで開催した。特別展開催に際して、講演会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年12月15日（日） 「北条家の人々-元禄から明和の時代に生きたお殿様と夫人の物語-」 講師：橋上 猛雄（大阪狭山市教育委員会） 参加者数103人 ・令和元年12月21日（土） 「お殿様もつらいよ-ご先祖・お目見え・参勤交代・お家騒動-」 講師：藪田 貫（兵庫県立歴史博物館館長） 参加者数128人 ・令和2年1月11日（土） 「藩主北条氏と池守田中家文書」 講師：中山 潔（大阪府立狭山池博物館学芸員） 参加者数122人 <p>令和2年1月25日（土）から3月1日（日）まで「くらしの道具展」を開催するとともに、小学校3年生の授業の一環として展示解説を行い、むかしのくらしについての学習を深める機会とする。</p>		
今後の課題と目標	<p>今後も特別展や企画展を開催し、市内外の方々に本市が歩んできた歴史やこれまでの取り組みについて知ってもらうことで、本市の歴史文化をより広く発信していく。</p>		
<p>【課長コメント】 今後も、特別展・企画展などを開催し、本市の魅力ある歴史文化遺産の周知を図り、歴史文化豊かなまちづくりに努めていきたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	市民文化・歴史文化 の振興	担当グループ	歴史文化グループ
事業名	狭山ニュータウン 50 周年記念パネル展事業		
概要	狭山ニュータウン活性化事業の一環として、狭山ニュータウンへの入居開始から 50 周年を迎えることから、現在に至るまちの変遷を紹介するパネル展を開催する。		
成果と評価	<p>公民館展示フロアにおいて、令和元年 12 月 9 日(月)から 12 月 18 日(水)まで、狭山ニュータウンに関する写真パネルを展示した。あわせて、来場者への展示解説を行ったほか、ニュータウン入居時の周辺開発状況、風景、日常生活などについて聞き取り調査を行った。</p> <p>また、狭山ニュータウン 50 周年記念事業として政策推進部企画グループが実施した記念講演会においても、会場設営などの講演会当日の作業に協力し、講演会の参加者へ展示解説を行った。</p>		
今後の課題と目標	<p>今後も、継続的に狭山ニュータウン地区のこれまでの歩みを振り返る機会を設けることで、市民とともに、これからの狭山ニュータウン地区について考え、狭山ニュータウン活性化のヒントをつくっていきたい。</p>		
<p>【課長コメント】 今回の企画展で、各家庭に眠る狭山ニュータウンを写した写真の提供を呼び掛け展示したことは、市民との協働を図る良い機会だったと考えている。これからも、市民と協働でまちづくりができる企画を設けられるよう尽力する。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	市民文化・歴史文化 の振興	担当グループ	歴史文化グループ
事業名	狭山池の魅力発見活用事業（狭山池シンポジウム）		
概要	「史跡狭山池保存活用計画」をもとに狭山池の継承活動を進めるとともに、シンポジウムなどを開催し、狭山池の魅力を市内外に発信する。		
成果と評価	<p>令和元年7月19日（金）に大阪狭山市狭山池総合学術調査委員会が開催され、平成29年度に策定した「史跡狭山池保存活用計画」をもとに、今後、史跡狭山池にかかわる関連文化財を含め、どのようにして保存、活用していくかについて検討した。</p> <p>令和元年11月16日（土）に開催した狭山池シンポジウムでは、「パネリストに市川秀之氏（滋賀県立大学教授）、小山田宏一氏（奈良大学教授）をお招きし、狭山池の発掘調査と、その後の活用、さらに海外での狭山池を参考とした活用事例を紹介していただいた。また、パネルディスカッションでは、コーディネーターに澤田正昭氏（東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター長・教授）、パネリストとして工楽善通氏（大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市郷土資料館館長）を迎え、狭山池のめぐみについてみつめなおし、今後どのように活用していくかについて考えた。当日は101人の来場があった。</p>		
今後の課題と目標	平成29年度に策定をした「史跡狭山池保存活用計画」をもとに、今後の史跡狭山池の保存と活用について検討していくとともに、引き続き、狭山池シンポジウムを開催し、本市の歴史や史跡狭山池のさらなる魅力発信に取り組む。		
<p>【課長コメント】</p> <p>大阪狭山市狭山池総合学術調査委員会、文化庁及び大阪府の指導・助言をもとに平成29年度に策定した「史跡狭山池保存活用計画」にもとづいて、郷土の誇りである史跡狭山池の歴史的価値を市内外に発信していきたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	市民文化・歴史文化 の振興	担当グループ	歴史文化グループ
事業名	マイクロフィルム電子化事業		
概要	古文書など歴史資料の保存と活用を図るため、本市が保管しているマイクロフィルムの電子データ化を進める。		
成果と評価	<p>これまでに収集し、市史編さん所で保管している歴史資料（マイクロフィルム）は31万7千枚を数える。マイクロフィルムは、経年のため劣化して破損することがあり、資料の欠損につながる。これをさけるため、マイクロフィルムを順次電子化し、恒久的な保存と活用を図る。</p> <p>これまでに、平成29年度に59,841駒、令和元年度に51,800駒のマイクロフィルムを電子化した。</p>		
今後の課題と目標	令和2年度には74,500駒、令和3年度には69,100駒、令和4年度には62,000駒のマイクロフィルムを電子化する予定である。		
<p>【課長コメント】</p> <p>貴重な資料の電子化は、資料の欠損や劣化を防ぐだけでなく、歴史学習をより身近にするきっかけを生み出すとも考えられる。これを利用して多くの人に本市の歴史について知ってもらいたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	市民文化・歴史文化 の振興	担当グループ	歴史文化グループ
事業名	文化財保護推進事業		
概要	<p>「大阪狭山市文化財保護条例」「大阪狭山市文化財保護条例施行規則」にもとづき大阪狭山市文化財保護審議会を開催し、市内にある文化財の保存や活用について調査・審議する。</p> <p>このほか、「狭山藩北条氏」を市内外へ発信し、本市の魅力を広く周知させるため、PRパンフレットの作成、配布を行った。</p>		
成果と評価	<p>令和元年8月8日（木）に第1回大阪狭山市文化財保護審議会を開催し、あらたに「釣燈籠（鉄 鋳造）」を市指定文化財（第11号）に指定した</p>		
今後の課題と目標	<p>今後も、市内に存在する文化財を保護及び活用するため、次期市指定文化財に関する調査を行うとともに、平成30年度に策定した歴史文化基本構想の運用を進め、歴史文化豊かなまちづくりに取り組んでいく。</p>		
<p>【課長コメント】 大阪狭山市歴史文化基本構想に沿った、文化財の保存と活用方法を検討・実施する。加えて、本市の歩んだ歴史と市の宝となる歴史遺産について広く周知を図ることで文化財の魅力向上につなげたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	市民文化・歴史文化 の振興	担当グループ	歴史文化グループ
事業名	市史編さん事業		
概要	本市の歴史や文化について、歴史資料の調査、研究、収集などを行うとともに、講演会などを通じて市民に対し普及活動を推進する。		
成果と評価	<p>今年度の「歴史文化セミナー簡修館」は、昨年度策定した大阪狭山市歴史文化基本構想内の関連文化財群をもとに、「時代を超えて生き続ける 郷土の誇り狭山池」「狭山藩による武家文化」「近代化によって生まれた新たな文化遺産」の3つをテーマとして開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年9月7日（土） 「狭山藩による武家文化と北条氏朝」 講師：橋上 猛雄（大阪狭山市教育委員会） 参加者数 35 人 ・令和元年9月14日（土） 「戦後史のなかの狭山ニュータウン」 講師：本井 優太郎（神戸女学院大学非常勤講師） 参加者数 32 人 ・令和元年9月28日（土） 「水がもたらす景観とその保全」 講師：恵谷 浩子（奈良文化財研究所） 参加者数 28 人 <p>このほか、市民からの問い合わせに応じ、市民が保管する歴史資料（古文書他）の調査を実施した。</p>		
今後の課題と目標	<p>今後も本市の歴史や文化に関する調査・研究を継続して行い、あわせてそれらを紹介する講演会を開催することで、本市の個性や魅力を市民自身に理解してもらおう。その上で、市全体で協働して郷土愛を育めるよう、更なる魅力発信に努める。</p>		
<p>【課長コメント】</p> <p>今後も、歴史資料の調査・研究及び収集を行うとともに、収集した多岐にわたる歴史資料の継承と活用を図る取り組みについて進めていきたい。</p>			

令和元年度点検・評価調書

施策名	市民文化・歴史文化 の振興	担当グループ	歴史文化グループ
事業名	埋蔵文化財発掘調査事業		
概要	本市の埋蔵文化財を保護・記録するため、周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内での土木工事に伴う埋蔵文化財調査や遺跡外での試掘調査を実施する。		
成果と評価	令和元年4月1日（月）から12月31日（火）までの間に、遺跡外の試掘調査依頼が8件あった。遺跡内の発掘の届出は114件あり、うち発掘調査を14件、立会調査を21件、慎重工事を79件、それぞれ指導を行った。 あわせて必要な埋蔵文化財の調査については、届出者、依頼者と調整の上実施した。		
今後の課題と目標	今後も、申請者と綿密な打ち合わせのもと、埋蔵文化財の保護に向けた調査、指導を実施することで埋蔵文化財の保護に努める。		
【課長コメント】 今後も、市内埋蔵文化財の保護・記録を図るため、埋蔵文化財調査や試掘調査を実施するとともに、開発者に対し、適切な指導・助言を行うことで埋蔵文化財の価値について周知してもらおう。			

令和元年度点検・評価調書

施策名	市民文化・歴史文化 の振興	担当グループ	歴史文化グループ
事業名	子ども向け講座実施事業		
概要	小学校4年生から6年生を対象に、夏季と冬季に「こども歴史塾」を開催した。		
成果と評価	<p>夏休みこども歴史塾では、「大阪の戦国時代」「はじめての大阪人-旧石器時代に生きた人-」「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録-世界遺産について-」「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録-百舌鳥・古市古墳群について-」と題して歴史に関する講座と「竪穴住居の模型を作ろう」と題して工作を実施した。冬休みこども歴史塾では、「災害について」「怨霊とタタリの時代」「考古学からみた災害と防災」と題した歴史講座と「さきおりのコースターを作ろう」と題した工作を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みこども歴史塾（大阪府立狭山池博物館 ホール） 令和元年 8月21日（水）～ 8月23日（金） 参加人数 32人 冬休みこども歴史塾（子育て支援・世代間交流センター 研修室） 令和元年12月25日（水）～ 12月26日（木） 参加人数 17人 		
今後の課題と目標	引き続きこども歴史塾を実施し、小学生の歴史への関心を高めることで、これからの歴史学習への糧となる郷土愛や親しみの意識を育む。		
<p>【課長コメント】</p> <p>今後も、本市の貴重な歴史遺産を活用した学習機会の充実に努めるとともに、地域の伝統や文化とふれあい、郷土への誇りと愛着を育む一助としたい。</p>			

大阪狭山市の教育に関する事務の点検及び評価報告（令和元年度実施分）

桃山学院教育大学 今西 幸蔵

令和元年度の大阪狭山市教育委員会の事務について、大阪大谷大学の長瀬美子教授とともに点検し、評価する機会を得たので、以下に報告させていただきます。

役割分担として、長瀬教授には幼児教育に関わる内容の点検、評価をお願いし、今西が主に初等・中等教育や社会教育などに関わる内容を担当することで事務を進めた。今年度も、従前のように、事前に「点検・評価 報告書（素案）」を提供していただき、内容を子細に点検した。さらに、令和2年2月26日（水）に市役所において各担当者に応接していただき、質疑応答の形で説明を受け、詳しく内容を理解することができたと考えている。その上で、本報告書の作成に臨んだ。

最初に私見であるが、行政に限らず、改革というものは急激な変容を求めるものではないと考えていることを申し上げた。徐々に、しかし確実に、明確な到達目標を掲げて進展させることが改革だと思っているからである。その意味で、私は大阪狭山市の教育行政は確実に改革の道を辿っていると考えている。根拠としてあげるならば、前年度評価において問題や課題として申し上げたことについて、十分だとは言えないにしても、翌年度には必ず改善されており、令和元年度についても同様であった。職員の方々による積極的な取り組みの結果であるが、さまざまな教育課題について、他自治体には見られない大勢のサポーターの参画と協働を得られていることを評価しなければならないだろう。

事務全体に対する総括的評価になるが、大阪狭山市教育委員会の事務は適切に実施されていると考える。後述するような、いくつかの課題はあるが、直ちに改善すべき大きな問題はなかった。

堅実で、積極的な教育行政経営として、高い評価を与えるべきだというのが私の結論である。

いくつかの課題があると述べたが、一番の課題は「学力向上推進」に関わる問題への取り組みだと思う。平成30年度の全国学力・学習状況調査の結果が予想に反するものであったが、令和元年度の結果は安堵するものであった。これで安心するのではなく、今後も注視する必要があることは共通認識されていることであろう。特に、以前から指摘している「国語」科の教育が課題であり、ここに弱点があることは「読解力」の評価につながる。すでに、「読む力」を育む読書活動など、課題解決に取り組んでおられるが、もともと「国語」が7科目の合科であることから、多様な領域での国語能力向上や、今日求められている汎用的な知識とスキルの育成が不可欠である。

「コミュニティ・スクールの導入」については、着実な対応がなされていると考える。避けて通れない大きな課題であるが故に、実施に向けての具体的検討の段階に入ることをお願いしたい。そのためのいくつかの条件整備が必要であり、特に地域の教育力の向上、社会教育の振興が絶対に必要であることから、今後の具体的対応についての検討を促したい。

あと、生徒指導について不登校児童数が少し増加しているという報告があったので、「フリースクールみ・ら・い」等との連携など、早い段階での対応を求めたい。小学校での「外国語」教育について、ALTの配置やスコア型英語能力検定の活用という計画をうかがった。検定結果を精査するなど、きめ細かな対応を望みたい。キャリア教育に関わっては、「キャリア・パスポート」の発行を考えておられるようであり、ポートフォリオとしての特性を活用して子どものキャリア形成に努めていただきたいし、職業体験学習のプログラムづくりを是非考えてほしい。

私が感じたことを述べさせていただきました。本市教委は、課題毎に丁寧に対応され、前述

したように多くのサポーターを配置されている点で優れていると思う。人件費などの経費の点でも、市民の皆さんのご支援をお願いしたい。

以上が令和元年度の大阪狭山市の教育事務に関わる点検・評価である。新しい教育振興基本計画のもと、今後に向かって着実に変革されることをご期待申し上げる。

大阪狭山市の教育に関する事務の点検及び評価報告（令和元年度実施分）

大阪大谷大学 長瀬 美子

全体を通して、事業が適切に計画・実施されています。社会情勢の変化、法規や学習指導要領などの改訂に合わせて、必要な計画を策定し、着実に実施していることがうかがえます。評価できる点とさらなる工夫や努力を求めたい点について、以下に述べます。

<評価できる点>

第一に、「子育てにやさしい環境づくり」に関して、多彩な事業が計画・実施されている点が評価できます。中でも子育て支援・世代間交流センター事業では、「UP つぶ」が開設し、子育て交流ひろばの登録者・利用者やリピーターが増え、子どもと保護者があそび、交流できる場として着実に定着しつつあることがうかがえます。南地区の「ぽっぽえん」とともに、市内に2か所の子育て支援の拠点があることで、「子育てにやさしい環境づくり」はあっというまに進んできていると言えます。

第二に、教育用コンピュータネットワーク機器の更新や英語教育の充実のための外国語指導助手（ALT）の配置など、学習指導要領の改訂に即した教育環境づくりに取り組んでいる点が評価できます。コンピュータリテラシーの形成やICTの活用にとっても、「聞く・話す・読む・書く」の英語4技能のバランスのよい取得のためにも、教育環境の充実は不可欠です。子どもたちに必要な資質・能力の形成につながる事業を引き続き充実させてください。

第三に、学識経験者・元校長からなる「学校づくり応援団」が学校訪問を行い、具体的なアドバイスや学校評価を行い、学校力の向上を図る取組みを行っていることが評価できます。第三者からの客観的な評価を受け、教育実践や取組みをふりかえり、改善点の明確化・共有などへつなげることで、組織的に学校力を高めるための土台がつけられたと言えます。「学校づくり応援団」のより有効な活用を工夫し、全小中学校へと展開することが期待されます。

<さらなる工夫や努力を求めたい点>

第一にあげたいのは、学力向上への取組みを充実するという点です。学校図書館の充実・司書の配置により読書活動の充実に取り組んでいることが、国語力の向上につながっていない点が課題です。小中学校における国語科の授業の充実はもちろん、全教科・全教育活動を通して「考えをまとめる」「論理的に話す」などの活動を充実させ、国語力の向上に取り組むことを望みます。

第二に、生徒に対する支援の充実です。心身に障がいのある児童生徒に対する支援、不登校、いじめ、SNSトラブルなど生徒指導事案にかかわる支援を充実させることが、安心して通える学校づくりにつながり、学ぶ力・生きる力を伸ばす教育環境をつくることにつながります。心理や福祉などの専門職を活用し、多様化・複雑化する問題に対する支援を充実させることを望みます。

第三に、広報活動の充実です。いずれの事業においても、計画的に実施し、一定の成果を得ているにもかかわらず、周知の点が十分ではありません。情報を提供したい対象（子育て層、退職後の余暇時間のある層など）を明確にし、各層が最も情報を得やすいツール（スマートフォン、紙媒体など）を活用するなど、周知を図る方法を工夫し、事業を多くの市民が参加しやすいものにすることを望みます。